

DB和24.12-26.1

Matani Motukeo

文部省振興教育ノ一ツ大學蔵用

世界文学全集

著者

書名

訳者

1巻 ダンテ, A. (伊) ○

神曲

生田長江訳

2. ホッカイオ, G. (伊)

デカメロン續集

森田草平訳 2

3. シェクスピア, W. (英) ○

沙翁傑作集

横山有策 1

(ハムレット, ジュリアスシーザー, マクベス, テンペストの商人, ヴェロニカの二紳士, ローオとジュリエット)

4. セルバンテス, S. M. (西) ○

ドン・キホーテ

片上 伸

5. ミルトン, J. (英) ○

失樂園

繁野天来

6. 佛蘭西古典劇集

モリエール ○

人間きらい 女学者の群
氣で病む男

内藤 濯

コルネイユ, P. ○

ル・シッド, オラス

山内義雄

ラスナーフ ○

フェイドル, ミトリダート, アンドロマク,
ブリタニクス, テーテス

吉江高松

内藤 濯

7. スエット, A. (英) ○

アイヴンホー

日高只一

グ・フキンズイ

復讐者

〃

8. ルッオ, J. J. (仏) ○

懺悔録

生田長江, 大杉榮義

9. ゲーテ, J. W. (Goethe, Johan W. von) (独) アウスト, 若キエレルの悲み

秦豊吉

ヘルマンとドロテア, ステファ, エグモンド

〃

10. 獨逸古典劇集

シルレル ○

群盗, ヴィルヘルム・テル

秦豊吉

クライスト ○

ペンテズイレア

舟木重信

ハッペル ○

ユーディット

中島 清

グッリハルツェル

金羊毛皮

舟木重信

11. ホオ傑作集 ○ エドガ・アラン・ポー (米) 緋文字

谷崎精二

ホーソン短篇集 ○ ホーソン, N. (米) 緋文字

福原麟太郎

12. ユーゴー, V. N. (仏) ○

レ・ミゼラブル 第1巻

豊島典夫雄

13. " " " " " " " " " " " "

レ・ミゼラブル 2.

〃

14. " " " " " " " " " " " "

レ・ミゼラブル 第3巻, 死刑囚最後の日

〃

エルサニ

土井

第15巻

デュマ, A. (仏)

16 " " (仏)

17 バルザック, H. D. (仏) ○

18 テイツケンス, C. (英)

19 ソラ (仏) ○

20 モオパッサン, H. R. (仏) ○

フロベール (仏) ○

21 ツルゲーネフ, I. S. (露) ○

22 ドストエフスキイ, F. M. (露) ○

23 トルストイ, L. N. (露) ○

24 露西亜三人集

チエホフ, A. P. ○

ゴーリキイ, M. ○

ゴーゴリ, N. V. ○

25 シェンキーウイッチ, H. (独)

26 イブセン, H. (独) ○

27 北歐三人集

ハムスン, K. (独) ○

ビョルンソン, B. (独) ○

ラゲルレフ

28 ストリンドベリ, A. (瑞) ○

29 テス

ハーデイ, T. (英)

コンラント, J. (独)

30 デュマ, A. (仏)

ドオデ

グティンソイ

モンテ・クリスト伯 第1巻

" " 第2巻

ウージェニイ・グランデ

従妹バット

二都物語

ナナ

夢

サウー生、脂肪の塊

ホヴリイ夫人

父と子、處女地、初恋

罪と罰

復活

チエホフ選集

どん底、チエホフ、カシュ

グラス・アーリバ、鼻

クオ・アデイス

イブセン集

飢え

アルネ、シニエ、ソルバツェン、手袋

地主の家の物語、沼の家の娘

痴人の告白、死の舞踏

罪また罪、結婚物語

テバヴァイル家のテス

青春、明日、エミ・オスカー

椿姫

サフオ

死の勝利

山内義雄

大宅壯一

椎名其二

水野 亮

柳田 泉

宇喜伸一

木村 幹

廣津和郎

中村屋湖

米川正夫

中村白葉

岸曙夢

秋庭俊彦

原 久一郎

" "

木村 毅

楠山正雄

宮原晃一郎

生田春月

" "

三井 充弥

宮島新三郎

" "

高橋邦太郎

武林無想庵

生田春月

第31巻

ハウプトマン, G. (独) ○

" " ○

シュニツレル ○

マアテルリン, F. M. (独) ○

" " ○

32. 現代佛蘭西小説集

フランス, A. ○

" " ○

フリッポ, C. L. ○

バルビュス, H.

アンドレ・ジイド

33 英國戯曲集

ショウ, B. G. ○

バアカドショウ, B. G.

ゴールズワジイ, J. ○

" " ○

" " ○

シング, J. M.

34 佛蘭西近代戯曲集

ロスタン, E.

キュレル, F.

ローラン, R. ○

ジェラルディ

ベック, H. F.

ミュッセ, L. C.

35 近代戯曲集

ズーデルマン, H. (独)

ベナベンテ, J. (西)

ハイエルマン, H. (和)

寂しき人々、織匠

駢者ハンシエル

夢愛三昧、アトホル、緑の野鳥

モンナ・ワント、闇入者

ペレアスとメリザンド

タイス、

クランクビーユ

ビュビュ・ドゥ・モンパルナス

地獄

狭き門

人と超人

聖ジョアン、悪魔の弟子

法律の轍

勝利者と敗北者

小男、太陽、敗北

フレイホーイ、海に行く騎者

ラノ・ドルジュラック

聖女の裏面

群狼

ロベールとマリアンヌ

群鴉

ロレンザッチョ

故郷

思はれどされ

猶太街

成瀬無極

秦 豊吉

" "

山内義雄

山林龍雄

岡野 馨

山内義雄

井上 勇

小牧近江

山内義雄

北村喜八

市川又彦

菊池 寛

山田松太郎

大宅壯一

松村みね子

岡野隆、鈴木信太郎

小川 泰一

" "

市原 豊太

伊吹武彦

渡辺一夫

舟木重信

永田寛定

朝倉純孝、佐すみ

第36巻 近代短篇小説集

弗蘭西篇

スタンダーン ○ ヴァニナ・ヴァニナ 山田珠樹、水野 竜太郎
メリナ、P. ○ マテオファルコーネ 山内義雄

左ーホフ、A. P. (英) ○ 熊 木川正夫
ゴーゴリ、N. V. (英) 檢察官 “
36. コッペ、F. (英) 獅子の爪 内藤 濯
アリエ・ド・リルアタレ ウエエラ、思ひぢかよな 辰野 隆、鈴木信太郎
ロティ、P. 病獣、老徒利因の悲哀、名もない園、屠殺場の獣肉 (吉江 高松)
モウパッサン、H. R. 寶石、月光 吉江 高松
ルナアル、J. 博物誌抄 岸田 國士
フリッポ、C. L. 自殺未遂、刑人の死、手紙 (小牧 近江)
アホリネエル、G. アムステルダムの水夫、オルシアックの滅亡 堀口 大祐
レニエ、H. D. 破綻、センチメタルな躊躇 西條 八十
カルコ、F. 悲戀 山内義雄

英米篇

スティヴンソン ○ マークハム 谷崎 精二
ギッティング、G. R. 草堂の夏 日夏 耿之助
ウェルズ、H. G. パイプラフトの正体 柳田 泉
マンスフィールド、K. 彼女の幸福 山本 修二
ハックスリ、A. L. 半休日 宮島 新三郎
ヘンリ、W. E. 水車のある教会 三宅 幾三郎
ロンドン、J. 奇体な破片 新井 格
アンダスン、S. 細君も一人 十谷 義三郎

獨逸篇

ケルレル オイゲニア 新関 良三
ハイゼ、P. V. ララビアク 生田 春月
シュニッツレル ○ 盲目のジェロモとその兄 山本 有三

第36巻 シュニットホン、W.

ワッセルマル
ショルツ、W. V.
マン、T.
エーウェルス
フラント

露西亜篇

エ・エム・カルシン、V. M.
コロレンコ、V. G.
クニャーリン、A. I.
ソログーゾフ、F.
ブニシ、I. A.
ホリスヤイ、フェフ
ピリヤーク、B.
イワノフ
ヤコブレフ

南・北歐篇

Blasco. Ibanez, V.
ブラスコ・イバニエス、V. (西)

バローハ
ウナムー、M. P. (西)
アソリン
グンツツイオ ○
グラシア・テレッタ
ロッシン、デ・サン・セコンド
モルナル、F. (英)
アンデルセン、H. C. (丹)
キイランド

米流、鳥と子供 茅野 蕭々
極 光 成瀬 無極
痣のある女 三井 光弥
幸福への夢 北村 喜八
アロー・ファルグはなぜ結婚したか 舟木 重信
光緒皇帝 秦 豊吉

信 號 熊沢 復六
復活祭の前夜 山内 封介
鐘撞きの老人 “
幻 覺 蔵原 惟人
白い母 中村 白葉
秋、新らしき路 原 久一郎
静かな曙 岸 曙夢
古いケース 米川 正夫
餓 鬼 “
貪しき人々 八住 利雄

二つあたり 永田 寛定
接吻 望井 鎮夫
バスコ族の人々、鐘の奇蹟 “
憎みから思ひやりへ (永田 寛定)、突発する妻 (望井 鎮夫)
モンテニユの理想、アム・ペドロの子アロン 永田 寛定
占 ひ 岩崎 純孝
ドン・カルヴァラの降誕祭 有馬 生野
西 微 風 佐藤 雪夫
母の心の対話 飯島 正
鐘、羊飼いの娘と煙草掃除 柳山 正夫
カアレン 吉江 高松

第37巻 近代詩人集

・西條八十訳
佛蘭西詩篇 ラマルティエ、ユゴオ、ミユッセ、エレティ、ポリエドム、ランボオ
・山崎義雄訳 アムフレド、ド、ウイ、テオフィール、ゴオチエ、
ルコント、ドリイル

・鈴木信太郎訳 シャルル、ホオドレエル、ステファヌ、マラルメ、
ジュルジュ、ロタンバック、ホオル、ヴァレリイ
・堀口大智訳 ホオル、ウヰルレフ、アルバエル、サマン
ルミイ、ド、グウルモン、ジャン、コクトオ
・山崎義雄訳 アロイジス、バルトラム、ジュル、ラフォルグ
ジャン、モレアス、アンリ、ド、レニエ
ポール、フォー、フランシス、ジャム
ポール、グロデル、シャルル、グイルドラン
モリス、マーチリニ、シャルル、ジャン、レルベルグ
エミール、ウェルアーラン

策吉利詩篇・竹友藻風訳
ブレイク、キリヤム、ワスワス、ジョセフ、ポトリ、ハ
ジョン、キッ、パアヒ、ヒュシ、シエ、アルダ、サエ、ラダ
アルフレド、テス、ロバート、ブライ、マシ、アナルド
エドワード、フツラ、ダンテ、ケグリエル、ロウゼ、ティ
ロバート、グリゲス、エイ、エイ、ハウスマン、トス、ハアディ
オスカー、ワイルド、フランシス、トムスン
アサア、オウシ、ハトリ、ハトリ、エイ、エイ、
エミール、フロンテ、ライオネル、ジョンソン
・日夏耿之介訳

亜米利加詩篇・日夏耿之介訳
・富田碎花訳
・野口米次郎訳
獨逸詩篇・生田春月訳
アラン、ホオ
ウォルト、ホットマン
フッケ、フレッチャー、マスターズ、サントバー
グエテ、シルレル、ヘルデルリン、ノワリス
シャミッソ、ウーラント、リュッケルト、アヒェンドルフ
アラアテン、ハイネ、レナウ、マリケ、シュトルム
リエンロフ、テメル、ケルフェル

第37巻

・茅野蕭々訳 ライナル、マリア、リル、シュテファン、ゲオルク、フコオ、フオン、ホフマン
・生田長江訳 ニイテ
露西亜詩篇・米川正夫訳
ポーシキン、バラトウインスキー、レルモントフ、チュッチェフ
コリツオフ、アレクセイ、トルストイ、ツルゲーネフ、フェート
スクラーク、ソロギョーフ、ブローフ、アンドレイ、ハールイ
ブリョーフ、アント、アフマートフ、エセーニン
・早曙夢訳
ドミトリイ、メルジュコーフスキー、コンスタンチン、バリモント
フレイリイ、ブリュエソフ、ヒョードル、ソロフ、
ジナイワ、キヒコウス、フィヤチエスラフ、イワーノフ
セルゲイ、ゴロディッキイ、イワン、ブーニン
南欧詩篇・有島生馬訳
カルドゥツナ、パスコリ、ダンヌンツィヨ、ネグリ
・生田春月訳
・永田寛定訳
レオバルディ、
グスターボ、アトルフォ、ベッケル、ラモン、デ、カルホアモール
ルベン、ダリーオ、アントニオ、マチャード、フラン、ラモン、ヒメネス
北欧詩篇・生田春月訳
ヤコブセン、イアセン、ヒョルンソン、ストリンドベリイ
フロオス、ケルケイ、ヘテフィ

第38巻 新興文學集

エレンブルグ I (トラスト、D.E. (ヨーロッパ滅亡物語) 早曙夢訳
グレーブ、アレクセーフ、前に立つもの、雲) 米川正夫
ゲオルク、カイセル、朝から夜中まで 北村喜八
ピランデル、L. (作者を探る六人の登場人物) 大田南津
チヤパク兄弟、K (蜂の生活) 新居格
ミハイル、ラリシキ、アルポートの青春時代 藤原惟人
お界文學全集 第一期
1巻 バレス、モリス (Barres Maurice) 根こきりにされた人々 吉江高松
2巻 フールジュ、P. (弟子、アンドレ、コルネリス、息子、手引、お女、山崎義雄
費道、
3巻 ド、レニエ、燃え上る青春 堀口大智
テアメル、深夜の告白、リカ、紅俱樂部 中村星湖

佐々木孝丸氏

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|-----------------|---------|-----------|------------|----------|------------|---------------------|------------|-----------|--------------------------|-------------------|---------------------|-----------------------|-------------------|--------------------|----|---------|-----|--------------|------------|---------------|---------------|-------|
| 5. | コンラッド | ハックスレイ | ジェイン・エア | ロード・ジム | クローム・イエロ | トール・バンゲイ | 人わねを大エと呼ぶ | 百パーセント愛國者 | ジェニー・ゲルハート | 白い牙 | 猫橋, 静かな水車場 | 憂愁夫人 | フッテンブロッカー家(1) | トンネル, さっさよ, やっさ, 昨印乗記 | 最後の一夜 | 決闘・ヤーマ | 穴熊 | 死せるバスカル | 無の道 | 地中海, バレンシア物語 | キネマの老婆, 落日 | 嘘の力, 人生, 女界の顔 | フッテンブロッカー家(2) | 歎きの天使 |
| 6. | コンラッド | ハックスレイ | ジェイン・エア | ロード・ジム | クローム・イエロ | トール・バンゲイ | 人わねを大エと呼ぶ | 百パーセント愛國者 | ジェニー・ゲルハート | 白い牙 | 猫橋, 静かな水車場 | 憂愁夫人 | フッテンブロッカー家(1) | トンネル, さっさよ, やっさ, 昨印乗記 | 最後の一夜 | 決闘・ヤーマ | 穴熊 | 死せるバスカル | 無の道 | 地中海, バレンシア物語 | キネマの老婆, 落日 | 嘘の力, 人生, 女界の顔 | フッテンブロッカー家(2) | 歎きの天使 |
| 7. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 8. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 9. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 10. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 11. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 12. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 13. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 14. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 15. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 16. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 17. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 18. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (Mann, T.) | マン・ハインヒ (Mann, H.) | | | | | | | | |
| 19. | ヘルズ・エイチ・ジョ | シングレア, U.B. (米) | ドライサー | ジャック・ロンドン | ズラデルマン (和) | マン・トオマン | ケッラアマン (和) | アルツィバーシェフ, M.P. (義) | クーフリン | レオーフ・フオード | ピランデルロ (Pirandello, Dih) | デレッタ (Deledda, F) | ブラスコ・イバーニエス, V. (西) | ヨハン・フォーエル | マン・トマス (| | | | | | | | | |

友人 アトレーエフ、和成、懐良、紅葉、春水、西鶴
清少納言、源石、歌木、タマール、貴之、龍舟、
杜甫、ハイク、馬琴、白、半三、芭蕉、ハムズ、藍村
ニ尊亭、フレイク、オイガマ、ホー、ホーマー、宇沢部、家お
ラフオニエフ、ラフレー、李白、ルチヤルスキー、レツシク、レニエリフ

Vita Nuova (1340 24 12 19 24 10 起)

12月24日 午後まで書寝。15.00ころ羽田の亭へ君呼びに乗り「旗田氏来訪」とのや
きは夫人元にもあり、北来以来満4年なり。羽田の帰宅までお相手つと云。悠にふ
も来つて挨拶す。羽田帰つて夕食は「れや」指しは「吉野書房」より電話。44
は「佐田前田氏」以下あり。社団正月も出来上り（を見る）。24.00近くまでゐて徒歩
にて帰り不審新聞に会ふ。帰つて徹夜。「花兵」記録(2)を書きて中途にて
お終筆。

25日(日) 5へ不眠。佐々誠君来るまで「老安の記録」ついで29夜とし
晝食終へし直後、同君来訪。ホーオス一ヶ月分28日頃出たこの高橋君
の手紙も来る。ともに出て羽田君へかく途中亭先生へやせたまふ神田
一郎先生に会ふ。羽田でや、話しあふのや丸太町の吉野書房へやゆめ無
人! 5へ置きし鞆と。居稿枕上に置き放して帰る。旗田の百頼氏の
代りに神戸大学へと有書ありと羽田の話。

26日 終日 家居。15.00ころ石倉屋君来り、金田純子ニヒカリト、東洋史研究の
会費200円預り。昼飯一皿のみ。夕飯まで帰る。

27日 9.00 家を出。12.00 上野着。善徳社の寄れば、お金井君不在。吉岡君の陽気。正月
号も。高橋君とヤマで食在中。佐藤誠君来会。高橋君三軒へ圖書館
専らヤマ帰れ。館長兼務ヤマと。可也。中村わか石盧人。可也。図書館へヤ
マ。ハ本嬢とヤマ合。陽気父君へと札。16.00、11月11984-後2396=9588と云。
高橋君ヤマとヤマ。まは善徳社に寄りて帰。十宮義孝誠壁。買。おたのはら越。2
ヤマとヤマといふもヤマとヤマの青と冬空。お金井善徳の。世界歴史Ⅲ。おたとい
ヤマとヤマ。

28日 係に於て三女を以て買物、お銀 980、弓子 822 400、史子 600、たか 14.00 を
乙女文化の爲り、外山早治の中、餅つき会、山川保長、北野高桂へ入ったといふ也。
神田先輩の名大士外山氏の口より、但し 11月2日は駒田五郎と。野田又去れり云々
下阪。リッパ書房の「月下の一青年」の代り 500 押付、向平正二郎が「赤子」第 3 部 (130) 買物。
西田太人にお歳暮 500 の押付を貰ふ。くれろの「月号」来る。

[illegible]

13日 や、暖し。9.00 神田を去る。方角す。2月半まで「清義」す。如く中国之學を教へて
と「履歷書」資格審査書、業績表、著書を送る。いかに「文部省工務局長」の「外務省」
大澤氏(哲也)、外務省の宇都宮清吉氏の推薦で「一候補」18の教授会と。帰る途中
外山正治氏の会。東方文化の事。和の事。4月。風邪に臥床。思ひやり。帰る。書類作
り帳に記入。歌聲。入浴。毎日の食事。いかに。藤井通雄君世化して
る。付「履歷書」を送る。但し4月12日降。芳野清江氏。松村石堂氏。三人。因り。表す。出来

學長川村夢英

午後石浜先生には水山峠君の家へかまのスキューターを貸す。佐藤君も来会。新城博士の令息を国書館に入れん。14時高橋君と出てくる。八木ヶ原に山中と云へゆくが5分前車にて来し金井君と云ふ。山中嬢の姉妹「何うなる」と。それから酒を帰る 21.00.

1月28日 暖し。同市和子所母が病氣にて横井へ帰る。正午出ておらへ
 和子の中村は神田^{中野}~~中野~~西先生の舍にてまじはる。4月へさ。落胆。可成二是
 進め223へ422へ断る人。有しかる小島和子は兩方及くへて宿を分るく
 して。

29日(木)晴。氷点[↑]が来た。午後神田先生を訪へた。木留寺。宇都宮清吉氏を訪へば在室。世に慕[↑]れ、18,9時に神田先生を再訪せり。帰て出直し、うへへ申生いしが、[↑]「新根」より「名」へかへし。家のことは部長に話し、1日の教授会の結果を報告せん。

30日 朝霧を出て京都駅へ行き、45分で京奥山行(9.17)のり、彦根(9.19)。
まはり回して女尊に中々休校長、松村西先生縣廳と広瀬教頭と案内受付、図書館
見、昼食後滋賀大学へ長^{下(50)}合ひ、祖国^{下(50)}へして駅へ~~着~~家。同書所の校長宅
へセキル、縣廳へ事工と、学事課で西先生に不^{下(50)}合ひ、セキル~~は~~獲得を新聞に
出^{下(50)}した。夕、帰去。家^{下(50)}の^{下(50)}中を帰る。

31日 無為 午後富永の電話相談あり。病気の行方と区否とを、山下協
所へ申し末吉と100をまと。彦根の研究費15,000の書類を。Poppe
のブライアン語掌しはいる。

2月1日 集事 ^L 2月才會12日^T 通知. Poppe 比世出此^L 時.

210 午後下給町へ中主 800 27 奉。坂 6 名男 8 下。江 4-9 諸集 9 送由。

310. 午後吉野書房へ中4時より留守。校正を続けし頃、南島君来り、(保田へ行く)と、手紙托す。惜し下駄町へ入り父と会ふ。

4日 11:00 家を出。下宿の事、仕度一通り。山平治政也。LIZ'S LIZ Y景、来り、IT
東京エリヤ、丸の内、元子供に家交教師月費5.6万円。級自は3,4
万同。風呂入、夕食とて、事務所南校、通車書447かき起、宿(山平)
近い入堂止)。そとで、眼の子更本生、とては、さあ、とては、
た、た、た、

5日(日) 11.00 朝飯、山本在出工、坪井の所へ、今夜東上、西門の会へて、後書へる。山

川村君へ、昨日の夜、14.30出て京阪。京都文芸懇話会友の川村君へ。小石君= 市子氏との会談も、川村君の毎日の会談不明。野田君のことで話せば、名士よ。さん。帰れば、波多野野郎の塾一昨日京都宇治の塾の事話して、川村君の家には、おやあり。但し、会談の川村君と。西田君の電話借る、川村君と。通話停止。大なり角の川村君は、ハイ、今月末出版の予定、支拂ひは、翌月末の分を掛と。Alas!

2月6日 8.00 家を出。田岡の父は就寝中、至るへ赴き、一掃して東方文化のやうな
波多野氏の金と宇都宮氏のやうな紙幣を。その日、丹波市へやて善徳社に電話
すれば「第24日まで北海道」やとよく賢館、清水稲光の「相模」受へ。
司書主任と面会押して時。太田君の泣くやうにの我説を。得々録本のやうに
は「匠か人、但しかか上し〜としては他言存在。一電車おくれ帰宅。旗
田氏の京阪電車研究会の通電。

7日 又へ3.00支取わられず、7.00出戻。登録す44.改定出戻、仕事ヲ
せ橋井へ行く。途中新本出戻の会に、飯沼にみ、融断、坂口君同一汽車ヲ
りしを2人同行。宿泊をたが、エリーノ原稿の用字修正、保田の電報して
20.00中44.又⁷片類を_Lし、21.00坂口君に帰る。エリーノ銀、かき直せて眠
3。

8月 岸田氏の来日。8.30の佐藤氏に丹波市。9.30より合衆国企業会。吉田
不二子氏の母親来りたの2枚のくし。長尾良の弟の紹介にて来りた西河
史の学生来り東京の佐藤氏の紹介にて来りた。15.00
に於て吉野書店に於て前田重社長の紹介。岸田氏(菅原の友と)への
紹介のり。文芸辞典の参考書費1,000円。岸田氏10.01.30来りた
大宮。岸田氏の速達と来りたの手紙。

9日 雨。登鶴。伊しせず。右へりあり。至井一之の紹介にて大英之利の女生徒あり。
心理学の講義ありと、22時。木下君に電話、私の後任に吉川、泉井博士の紹介
にて申込まると、可笑。午後、司書室に紙を暫定主任の紹介。14.30出て南で高校へゆ
く、教師長が酒氣をふくみある。幸吉に断り、しす。21時42分新車限にて帰宅。市
長の予知通、高山寺道。

10日 雨。中村は暗水仕事。晝佐藤君来。主計²に $\gamma_2 = \rho - u$ を求め向うく長崎へ。
新城先生。子息15日に出発。案内し、研究所へ送り。中村忠行の電計機

松村一雄先生の便り。近江に客を招く。主幹会談中、本下君に電話。
「帰りは来り。また」去年2月4日(保田一雄)のライオン紹介が欠員を
とらわし。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

2月11日 出勤。司書室配属後、ついで大下君に相談。鶴田君に。ついで鶴田君
とあつた。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

12日(日) 5時の葉巻で風邪軽快。羽田の寺へ。大下へ。三野君へ。
高橋、坂口二君に挨拶。12.00 東山三條にて宇都宮氏待合せ。大津の
中へ。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

13日 お勤の途、おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

14日 金井君の流儀を話し。おさん(保田)は来り。

15日 4時新城氏着任。配置へ。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

16日 欠勤。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

17日 欠勤。無事。おさん(保田)は来り。

2月18日 風邪軽快。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

19日(日) 吉野事務所の誰か来る。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

20日 朝、おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

21日 朝、おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

22日 臥床。宇都宮氏へ。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

23日 17.30 出で宇都宮氏に訪。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

24日 出勤。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

25日 出勤。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

26日(日) 朝、おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

27日 4.00 起床。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。
おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。おさん(保田)は来り。

7日 9.00に出て大蔵井高枝にやき堀内民一に会ふ。先兵の記録と諸國吟
と二冊をよむ。雨の中に出て五五五。沼野孝夫と隆和銀行に訪ふ。10時。
田村春雄を訪ふ。14.00ころ車にのりて所へゆき筒井と話し、野上への
挨拶をし、池田治雄を訪して出。東高枝へ五五五のし上乗せくわし。15時

- 120 嗟耶来^レ付^ル未^レ_ナニ^{シテ}モ寒^ハ紅^ニ御神向^{カス}マ^サ。印也、音問^ヲ

17日 彦祖如前所請，讀此事件并觀以く此本は8.00時で10.00まで帰宅。
東洋史教授資料室に信有り。畫羅「辞典」才才也。

3月26日 10.00 家を出、山五條、山前君へ「哀愁」をゆづり、帰リ學文堂にて紫雲石田耕之助『南海の南和と那史料』(80) 買ひそれ以て波多野善次氏に奉命せし。印せられた理由がわからぬまじり、答ふとし。華僑の子を臨りの書ゆし。高橋先生にとけかた不在。礼装をついて新城氏におかけ、帰りて書台。羽田のやまで、洋大教授選考料、こころいふはそかず。

27日 短冊10枚書をリアル書房に寄りの吉野書房にかく、前田社長とも話し
の事なし。書多村枝を電話せしか不在。帰りにポラトレイルを買ひ(55)。予二回来る

28日 雨。11.00 早稲堂大島五郎氏来り。荻原家先生の案内で（16函すてい東京へ寄
りて）12.00にて引取つてもう。夜入浴。漢語史研究⁷ 来り（95）。この論文は冷々
号廻しなり。保田、中島明子へハカキ。27日蔵書のカード造つてしまふがす。

29日 晴 8.30 出て 新城氏の中へしし不在。山崎工務所船にて八甲巻、帰船の
一歩先へハ本巻着。泊まつてもよし。留守中新城氏来されしと。

30日 雨。八木嬢子らの着物つくり等。洋人漢名教へておきて15.00まで。尾崎の姉の家へゆく。岡山聰子よりお幸伯母の字を。おすめ。島松より北大の。大工の角47再び中てみん。

31日 朝新城氏事務所、學友室、²と修へ²と出で²つる²場、敬英、¹帰¹415、¹啓君事務所、
 取囲¹の¹畫¹録¹後¹か、¹辭¹令¹受¹手¹及¹か、¹し¹か¹の¹を¹と¹に¹成¹程¹と¹思¹ふ、¹16.00¹出¹て¹帰¹る、¹17
 上¹工¹主¹加¹減¹わ¹る¹、¹障¹園¹七¹區¹の¹診¹察¹受¹く¹、¹415¹肺¹炎¹と¹思¹ふ¹、¹ス¹ト¹シ¹ア¹ト¹ア¹
 仁¹に¹シ¹テ¹、¹400¹、¹初¹診¹料¹50¹、¹水¹散¹薬¹100¹、¹体¹温¹計¹150¹、¹依¹子¹ハ¹中¹夜¹に¹来¹た¹、

4月10 8.30 雨中に出で時事通信の羽合皆吉を訪ねて来た。一言のみ。翌日三軒
土の歩で（読取取康学事果）松村一石先生を訪ねた。近江大学、書類作製
中、松村先生も、主語にて佳定の云々へ。今年度に入らず。●意外。15.00 町
に云々云々の畫を上映見せ待つ。15.30 松村のPR中から帰らず。静かに帰る。
下宿の川に川に父母の不在。家へ帰るが母来らず。●皆が云々云々。天理園
書院の先生は陳証の通職録を云々（3月25日付）

2日(日) 11.00 羽田空港に於て大谷光太郎君へ会いしので飛要館へ行く。石谷、石谷の外、
藤井、旗田氏らと共に12名。本館の内の案内を受け、大谷氏の書室を巡りし、15.00 午後6時
頃の座りつく。16.30 出てくるので会いしのは高橋君。朗讀をせしめ、ハルカ堂への手
紙を渡し、佐々木君の著書「大谷光太郎の文学」(120)を受け取りし。高橋君朗讀し、井上君

近三郎氏の家のことを知るとして忙しかりし。帰途新城氏に畢竟堂のことがあり、
 其の八本巻の巻と佐子といふ中、東洋史研究会の参考資料の編輯とあり
 してハカキ。

4月3日 午前中、日野の地の^いと^はに^の思ひ出^り10枚書^き。午後の田へ参^り。昨日の金希
字と云ふと。退屈する金としか云へておしと。リッの書^きの^いと^はに^の野良^の。年^の新^の詩^の集^の
の文句^の。安^の静^のを^の置^のの^いと^はに^の教^のは^の。下^の総^のの^いと^はに^の祖^の母^の。吉^の野^の妻^の房^のの^いと^はに^の封^の筒^の
とてへとも^の切^の半^のの^いと^はに^の。梅^のは^の春^の淺^の余^のの^いと^はに^の未^の井^の氏^のの^いと^はに^の余^の。重^の役^の余^のと。早^のに^の退^の去^の。筆^のは^の重^のの^いと^はに^の
新^の城^の氏^のを^の教^のへ。清^の文^の集^の書^のと服^の部^の四^の印^のと思^の想^の1冊^のとと100日^のの^いと^はに^の置^のとと西^の前^の雜^の書^のと
平^の政^の信^の(50)とと置^の。下^の総^のの^いと^はに^の参^の。母^のの^いと^はに^の明^の朝^の来^のと。信^のの^いと^はに^のカ^のト^の作^の。京^の(80)
毎^のの^いと^はに^の葉^のの^いと^はに^の時^の計^の(650)買^のの^いと^はに^の。

4日 母12.00来り。読書はなし。午後出て、リアン¹のヤを平松²傳(80)と面会。肩下。とてが
へ。山前実治来合せしと、年刊詩集³反対の書簡のへ。母は、質本しちにて高倉⁴角の
りを信州へ中々⁵へ。明日取りに来る⁶にて出。吉野書店⁷のヤは、平松⁸傳來ら
ず。保田夫人家出⁹と。暗然。玉井一郎18.00来りしに校正して帰宅。11.00井上¹⁰馬
太三¹¹氏に家のこと依頼。

56. 兩、家居。高橋大右衛門へ送別会ヲ礼_レ。_レ又「大和通信」書ニテお尋問合
セ。大石角川の會ヘテ。其の招氣良ク催促の石名ノ中。其の子弟等之ヲ求
リ半日拂ヒテ了。

6日 雨。床にぬれ。11:00 田村電話。12:00 駅。明日午後2:15:00 雨止。大宮通。下り
天野隆一のアトリエに電話。年刊誌の話を。12:00 桂信子のアトリエ。13:00 都英次
・即ちの会。14:00。

70 晴。20下録のなかを祖母と話す。4000をちて北角へ445'の方をて戻り。山前定泊まゝ歩いて二條の河原の所へ行く。羽衣殿吉田達。大西一郎を往々へり方々に留守。龜山おつてゐる吉野書房のゆき玉井一郎と話す。明日保田へ行く。18.30帰れば西村友世英あり。3時内ほのつて。夕合はす。青柳燈^{に燈がらん}と。14日頃の上まゝの圖書館編習所へ入る。

8日 晴。10.00 家を出て三角へ中村へ不在。下沼村のゆき世にへて終明。晝食して
即駅を立つて15.00 中村へ在宅。200 字(させておいて帰る)。明日八木と裏へ不在の事
と来る手紙書く。

4月9日 (b) 5.00 起ち 6.10 まで家に在り、却て其のふたつより主部殿へおかけ 6.40.

40分待ちで7.20在^行車に乗る。山崎実治の父と同車。表紙近くまで立ち降^りり4枚
清先生と在^る10日の郵便を^りし^てと^りて^り学校へ^りて^り10日の^り生^とと^りし
明日出^るて^り10.57の^り（^り3^り3^り土^り産^りに^り買^り）主^り部^り13.00.7番^りを^りす^り
15.30子^りと^り上^り加^り茂^りに^り4^り。あ^りれ^り30分^りに^り出^りは^りす^り。同^り車^りに^りて^り今^り出^りは^りす^り。や^り2回^りお^り着^りた^り
17.40^りに^り1-6日^りまで^り丸^り家^りに^り泊^りる^り。か^りせ^り寢^りる^り善^りの^り目^りを^りお^り着^りた^りせ^りと^りも^りた^り別^り
々^りに^りお^りける^りに^りと^りき。

10日 晴 再び7.20で彦根行。川村孝雄(わかれを知りて呉れど)の挨拶後、町会合で
しん河村、島津二先生の発言激昂の如く不快。相争はあつて島尾先生(心理学)の
説明にこれは"私にお先生を"と。午後、サラーの半は6,000以上。その後又学科
長選挙のわかれ/票あり。おしむ。立派の書道、三本^の先生(浪中教諭)の令
息が正浩先生に挨拶あり。15.00とて出てきた。おしむ。青木正史「支那文字
思想史(130)」玄野仁一「近代支那論(50)」を買ふ。帰りの汽車中京大園博士
と同車。三本、松村、島尾三氏と話し、帰る。辞令「新買物会公立子校、教員に任
命す。二級に叙す 昭和二十五年四月一日 京都府知事服部岩吉」。京都駅にて長尾
女工一奢りあり。帰りの田んぼ。丸三郎のハコキ。赤雲肉前の字(70)出来。

11/10 大倉篤藏氏のハナキ。和田先生に所挨拶。丸。田村春雄氏のハナキ。依子エリハナキ
子嬢のハナキ。区役所台所ハ寄書証明書出さうと云(18)。帰る和田キ亭。午後出
乙吉野書房の中。佐田の消息を。17.30出て下駄町の寄。LPH書房の寄。ア
ハナキ現代作家(40)。

126 挨拶状—与島徳八郎翁。陽生、沢田、杉浦、坂。三好達江、諸氏。9.00 家を出て中野宮氏宅へ訪ねた。散髪。庭々冬の花と雪中。杉村先生不越し。書食不飲のう杉村先生と家へ伴ふ。酒不飲。中野地帯へ寄せ書ふ。18.30 本帰。11 時大町へ行き、同川 16 日以上の時話すといふ。よくへ返事せしむ。花塚金一。白鳥清。胆下。鈴木江の諸先生へ挨拶。

午後出て大学へ中村は佐藤、里井の二君のみ。研究の力に藤^(校)藤^(校)車、入気(三王聖み
し)田中健二の語の多々。神田と生十郎との在りたこと。民族学研究の令々され
て(110)返者、島丸車庫の来てて帰定。角の平紙、アールテン「これと、可也。

4月14日 6.20家を出てバスで西田昭吾君に同車、集合まで送られた。7.20に
 西田君の田村君に同車、高知高松に出る。高松リッパウ中、後田先生と見て、この間の会議
 の提報申し上げ、承知してこのため来るまじと。10.00に会議ははじまり協議会作の話し
 4.河村、島津の2人は相変らず不快、島津が言を誤解して「教授がうせ」といふ如き
 言を言ふ。文学科の委員として廣瀬、松村二先生を遣、これにては終り、汽車を一時間
 待たされて同乗にて帰る。協議会の空気がよくないと。八本に子氏所が水と依り手とを
 しかず。

150 野上弘、末吉、山本浩成雄、山本重武、薄井、牧野恒太郎へ挨拶状。9.10出て下總
町へ来た時母外出、父と話し待つ中 10.30 帰る来る。1.00 有在して出、吉野書房の中
には「保田地蔵」の本を18日以後に京へ来ると。東山へ来てて帰った道中廣州某の
正しそのの改定ありと。やがて新城氏来る。2月三笠宮図書館へ来り22日兩
天分は會合と。皇宮の式儀などとしつた日をしつたか、生に思ひかの海バ
いかにくさつたてゐし。これより工、工事、大和通信など。石塚先生藤沢
孝夫、小高根太郎、江口五、松本善海諸氏へ挨拶。

16日(土) 角川の電話が来り、11:00から出て、北谷の法然院に44分、12:00、14:00までいらして(原校へ会ふ)から詩集^田おとし信書たちを探し、角川^田遂に音読^田来り。羽田へ夜44分、和田先生に便り、「田中政大を止めさせたのか」と云ふ。和田亭精郎が午のころこゝに来てお返事してくれりとの事。~~田中~~

17日 在野の2食を盡食して盡瘁。三好達治氏よりハカキ。17日の家を出て11人の妻を
以て下級下級。西母と後三郎叔父の帰りを待つ。17日の金野嶺人先生、山本達郎
氏へ挨拶状。

186 鈴木治氏よりハカチ、岳人坊は此でとてせし。大ハ角山ヲ云。筒井、土平村、越前、佐藤新、中村治光、中野博之諸氏ハハカチ。中室員重上田嘉俊ハ同。上田一雄、田中城平、森光ハ、昌王、三郎ハ同。

19日 早稲刈り、老舎、^{日記}録、木を3本植へし、午後吉野書房へ古古く。16.00 出て帰る。午後
来吉、八木、高木、山本、井上、多田、三郎、佐々木、家に足付^りに努力し居る。吉野峰人先生より
古木、家駒、見られし。

20日 八木、井上二氏へ区事。冬川、皆野、99日へ挨拶。児玉實用氏は不在。市川、吉村武、川崎菅久雄、山久保、望井、金井へ挨拶。雨。山久知事選挙へ参入。
(山久)

5月13日　この家を出て吉野書房へかえりこんで著した。辻政信^氏15封¹借りて出、東山
のちと将軍家のちく。帰るに、まきつ電報。15ヒル来ると、佐藤誠、車ってリッ
4しと。わか友の書をしん^{よいてお山をう}~~ら~~坐りてゐたものと云。

15日 10.00 又へ家を出て岡本へ44分12.00. 校長室へ行くまでもう1つお。教科書は
まだ買はず止むを得ず誤謬3時間飛了。校前の教科書屋へ注文の中へ、来ると
出て電着。平田氏よりバツ"賛"。時便12.00。家へ17分19.00。

17日 大阪へ44日 怡葉の由に合ふ。幸吉なるまで来る。生徒をけ者へてはる氣をくやうなり。
事務の日と云ふ人あり、来る。5時間来し幸吉とてに出る。今と云ふて彦根大阪
間の定期を30分(900+620)。八本橋へ区事。吉野書局にゆき拉・正正し浅野美の
の22と11は20日上洛。いふ大和と。

19日 10.55 天打屋にて天打天方にて碇男の会。28日結婚。近所の天打男とて昭和16年、東洋史卒業生の古く屋の裏に居る。授業に遅れて帰る16.30。八木壇外、24日頃まで居るが来て来ると。

2/10 (10) 津野黒江に漁船へ停泊(5)し。大河の左岸の川に舟を繋ぎ、

5月22日 13.50 下り列車にて11.00まで家にいる。日本詩人 ますふな、こせいの歌を聴く。
1. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。
2. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。
3. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。
4. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。
5. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。
6. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。
7. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。
8. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。
9. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。
10. 読書 45分。3時10分まで。車番にも出て帰る。4時10分まで。4時10分まで。

24日。9.00 花巻の記録^①書く。27枚。八本成^②26枚集められしと。彙文堂の笠
岡氏の「^③近世数打布」を。彙文堂、東京東方学会へんがせ。羽田ハチロウに置致。吉野
~~書房~~書房へかく途中、下総町へ参れば父の死後稿ありし。吉野書房にて奥面の
原稿ありし。引合へして河原所通の古本屋にやかし。烏丸の文学堂?にて松原の
『至聖王古史概観』(40)を買ひ、羽田の事には在るの語すべ。和生先生はいつ
か外に氏を氣取つしと。母の足生福来格士といふ人物に在りて馬太目とい
れり。池内之生清朝定録^④3000にて京澤又々へ入らせしと。吉野書房へ一昨
年手稿をかたけられた校を出しと。借程引長く、松平景氣よく、山王位に金へさ
りし。岩村君の下へ来即へ下さるゝと云ふ。吉野二氏と仲好しと。帰る夕
食。銭湯へかれ工藤如雪先生、浅野是女へ信。

25日 9.00才七 吉野書房へつて前田氏と話しつて南ヶ丘^山満蒙古代史は三上^三次男校
正判1万円とて出たが用出し様子、とせられ出してく^くて一に^一席と。是^こうて山前君へ
訪しつたが以て不在。南山通歩^山を経て路(20)^山貫^山の、滑^山つて羽田^山へ。中河^山と一より西不
向の此書^山くつて参考書と。 (つる^山才の太西49-即^山う^山亦^山へ^山幸^山し)。此^山と^山中河^山2000
と^山中^山く。夏^山胆^山の^山あ^山つ^山へ^山店^山に^山あ^山る^山。西田^山家^山へ500家^山位^山迄^山加^山え^山れ^山も^山5^山才^山4^山分^山預^山め^山て17,8月
まで^山よ^山か^山う^山ん^山と。中河^山と一^山へ^山函^山信^山。

6月10日 工部へ講義のため、17時通い、飯田先生の大治伺ひで、近藤氏へ行く。
河村博士に無礼と生徒の排斥で4人。その河村君が「さうさういふやう
な講義がまだあるのかい」。八木君17.30来宅、その前、送送屋敷に立川に
荷造りして行く。河田家、西田家、飯田の命馳走賜はる。富永氏の地味
圓飯に付き書き、近藤の子供出来し。12上原郵便局へ送付通知。

11/6 (日) 6.00起床。8.00 札幌運送局より荷造りしる。わが八木嬢と陸子張り。父母
来り。母に1000 貸す。9.30 まで羽田へ寄り友人に送つてもらう。又、友3人も来る。立寄駅へ中
で4'10.10 まで10分間待た熱海行にのり。彦根につく。丁度13時30 分。赤塚氏も手付
(わが荷卸し完了)。八木嬢15.31 まで待つ。夜赤塚氏と暮る。夕飯を食べてもらう。彦根
郵便局へ轉居通知かく。といて24 の社名となり佐々家のことを知らせる。ついで
(1-3-7-7 代2500. 477°300)。羽田。木村要信。井上孝三氏に会ふ。(日)

12日 雨。8.53に乗って大隈。3年とにやめられ。16.30の972乗。17.20着。王お久と
十合極向店にうけぬしに不在。野原の二^里紙にす。不^二事。政治的にていやる。整
君の歌の受取。お存学校へ来しに宮川君といはせられし。お校は西へおに。西へお
に明日の何れと。馬場事務小使の手信に^②お久とをせられし。お久は来(10)
し来りてわかる。

13日 〔佐々木〕「子」橋井郵便局へ移居通知。前田〔佐一〕と同。土曜、程路届を出す。授養車
因 5月8日分はいれどなる。5-6限の世界文化史の途中しつてやつてくれとの声あり。これ迄の
て打ち水はあてあやまいまし。本棚一つ組立てしや。本位田、行内へ移居通知。お明のま
り登校と。

(4) 6.09の32の5.00起き、行々11/10尚早し。惜り16.00のれし。八本巻の文工の初便、
(親の5.20の)、大急ぎ来れしと云ふし。

150 南へ行く。19.30分まで山手沿いの事務所まで来た。地下鉄にはお尋ねの如く、今夜中にと約し女医さんの百日咳は10日か12日くらいで過ぎ。(梅田の古本屋に50円と付いた梅毒薬を50円10分とあり)大抵の中(達)。大抵石炭病にて死す。雲々。中々は大抵の女児5ヶ月にてかういふ。毎日の300倍、夕飯を食べ、重たくなった。収入も少く、同様に4月21.00、入浴して10日。7月までに上り。

16日 吾娘と兄と女、7人、橋の跡に十合に中をホーワス、土に900m走つて52. 古4.5冊
100m走、里の上流、古跡書庫へ。奥面保風9分。荷物軽々下流へ。500区に上

う。書台から出て、リッパ書房のイカエムとオ会へ緊急通知。梅を又に『新漢文の研究』(100)里に、また吉研書房のイカエム¹の校正し(次は10の節)、16.15未新行して帰る。八本²の籠に二廿へ人かキチル³が。大に知⁴へ⁵がキ。

6月14日 矢野峰人先生へ宛てて居る通知。京都へ行く予定届し。送金⁷有り。図書館へ話し。工部
へ行きて講義。面会日を火曜15.00より。13.00帰る。夕飯を4時松村。午前10時。在号村三
先生へ越し。在号村と先生と行く。二台で一汽車行く。お帰りのついで西中へ接ぎ。本日は
即ち松村へ行きてお話し。

186 (b) 8.50 ㌔ 京都へ付。池田。石橋=芝生と芝生地帯に於て移居通を控す。この
1㌔ 高松の河川に於ける水が、お水をきれいにみかたず、お水のきれいにみかたず、お水の
23 米が思 ~~は~~ ^い 米がはうから。新陽堂 (Pfister) 字し入付。

1944 姓名通知，上京郵便局長，百谷，権田，早川，原，服部，羽倉，沼田。

南大入。事なし。16. 四の汽車にて帰す。ワースワース詣りて送る事。

20日 雨。登校。事なし。今当土曜に帰る。夜老々雪く。

2/6 園大. 本吉に往任已つたこと。澤田電車と吉野書房前同隣一氏の会に保田
来ると云く。此の園大に「花」25枚と出し中五有縁あり。下巻のなか方には江の合
母より500と云。吉野書房へ44は玉井君あり。保田電車と電話にて何時に來ても怪
し。18.30より澤田。池内先生とあひだ。佳吉に役所より戸籍記載書。

22日 彦起大雨の中を8.52に神戸へ乗込み雨止み、大塚にて12時。近衛会明日の延期を
有り控へ。明日休む事否うか。晴。吉野書房に午後1時頃出ると、お茶本石井の車
で「何となく」代官館に行くとし。(若村君の下に於て回書集註(40)買ふ。新大阪にて
老翁'8月号は休むせとしれず。18.32) と共に上り、白鳥芳郎君と面談。
にて帰る。笠井君大阪の市営住宅に入居し、石谷君土曜待て。羽田夫人。服部正己服
部英治即成の合ふし。11日先日十合で買ひ古手5冊45円得。

23日 晴。出勤令出に5人。2日予定行けは毎週月、金は金金に、月曜に会社あり。
 4時一に2。赴任旅費(3,060)15上。大塚繁雄、日下、石川、佐藤(45)「チャイ
 ン」にその文明史話(35)「雪」85冊に2出。夕方散歩に出。清水盛造、その社会研
 究(135)武内義雄、その思想史(135)「雪」出。4時川崎市健康局の会。夫人のハ
 ートネットやらに大印鑑に住む。酒不、のうた帰。狩向王と遊ぶ。又その宝
 物(200)。来月8月曜の26日、旭、北、丹、西、建、寿一へ移居通知。

6月24日 9.00出て流石組行へて3.060まで取。白鳥吉吉と上りて「信濃」寄。
一旦家に帰り。娘花子に2.700おかしして工料。生徒今日より名簿表をさし
ておとす。主母へ行く。暑し。碓氷の駅へて夕飯をローンとたき。主母殿へては
21.44の汽車一歩まへてやむ。下総町へて泊る。

250 (6) 起てて 8. の 3 日 出て 佐々木 邦彦 君を 訪ふ。カネの 陽の 西に 一ツ 石 並べ 庭 邊 全と、
 歸田 又 夫 氏を 訪ふ。佐し 水 研 清一「至聖王の 統治」 柳 原 未 治「朝鮮 古代の 文化」
 が あり「上 代 集」(180) 置ふ。建 古の 下し 合ふ(90) 汽 車 街 5 の 丸 物 の カネ 喜 不 白
 と 7 4 乙 置ふ(50)。13. 20 の 日 (佐々木 邦彦 西を 己の 大 丸の 事) の 時 肉 万 事 者 佐 喜 不 白
 の 乙 佐 喜 不 白。1 零 九 の 日 中 中 村 竹 中 郎 来りしと。彦 如 親 師 奈し かの 乙 佐 喜 不 白
 就 家 園 佐 喜 不 白。笠 井 信 夫、外 山 幸 治、4 4、女 各、相 野 八 八 中、中 村 乙 訪 ね 見 し 佐
 留 字。

26日 東田先生、向山書店へ移居通知。午後学校へ入江 研究費 図書費。午後江合会、宮川、田村三君と車で移居祝。赤塚氏宅へ12月22.50まで。14日 神田先生、金井、田村實世と移居。田中誠幸、康平、坪井、筒井、達、中山正喜、宇都宮教授、上田嘉俊、野上了久、へ移居通知。

27日 阪上、岡村君と登校。2時内務省に、事務馬場君に札1500枚出して返す。金
曜日の教官会と。篠田先生と土曜、案内状。11月、中野先生と20日。東城臨落。
夜訓法学会と21.30時と5時と方角。他、肥子、森田夫人ととて伊居後!

286 6.52に乘りて中野へ通る。原氏代りに来る。やゝし原主人既に水(南)は「骨髄腫
と云ふ3男絶望」泰大佐のせいゆゑつらうとしたので帰る。他人事にかまひなく哀れ
む。所々3年生も。おかしなことをおもはせてゐるとしか思ふことはきくに及ばない。
保月、孝五、工藤先生、中野博士へ轉告通知。此等村君ゆゑ Giles の The travels
of Fa-hien (200)⁷ といふ。

276 17.572下段、留主が父の口から、大に母の口から、東平が父の長女を合せりし。山前、松平、藤村、小宮、中、河野、江口へ轉居通知。平田氏の3000信用。芳村夫人より Haberlandt: Die Haupt-Literaturen des Orients. (200) を買ひ。1年2年の英信試験内題作整。16.30 平田。主考 = 君に申しせぬと2字期57の群職。2242。吹田へ一寸降つたと思ひし。幸部19.40 472 譯れは川村教授の要内會とて駁し。加平氏の三男是(ト達士)とて。= 4. 寺島、杉浦、肥下、陽出、深田、島、坂口、白鳥先生へ轉居通知。

6月30日 松林会有郭無邪の終り山村君の却つてお城へ上り出し。月夜直り。鈴
田先生に諾の返事。松田氏一同人中。祖國へ歸す事。12.30.4にて会食の宴あり。
松田先生は山村氏の如く。會計の如く。法政大の如く。山田學長は面會の
は「仕事」にて。帰つて合休。文子15。家政10。教育8とあり。腹直り。而して。山
村君は5000円。井田氏の返事。16日。再松田先生を急行と。

7月1日 起國の受取出し、10.17で岸松口の工種、披露すまじり等。お出で
 給う。金井君一軒主へ移りし。ハ本信士とすま事と。金井君、ユウカハ女思出金と。
 古瀬矢生（師匠）といふ事と。小川治。14.00才。後日、松形。記号等三
 先生不趣し。1,000位の師匠走らて御校へ来（お帰）。中村竹次郎（下）といふ東
 客にてありす。4"一才わらして帰る。井之口氏泊る

20(ロ) 井之口氏早朝帰了。大工^上井上清の命でし。井上善佐子、以て三子に人なり。此より
敬整・(65)。正徳9年秋九月に於て是れ車に乗せりて其母を奉りて來りし。其時西ノカキヤ馬也と
し、16.0 餘年。其妻は其母の人乳を食ふありしと云ふ。又佐藤氏へハナリ。其
子の頃、山かたのやうなやけにやけにしもいふ所からしむ。その中五に達してはなかり格別
なりともあるべきことなし。

310 8.53に大塚.試験場までと早のり2分(梅田の駅外「十人十色」(50)の定金)
武井生と梅田まで来た平岡君の会ひ3人の噓話(2/0).

40 秀根の授業、臺始皇事⁷と婦人⁷とを教へし。官下氏ハワースワース其
他ハウチ、帰ルル⁷中村⁷即ち来リ 16.00 まで再度来たニレバ、久シクハ風入
リル⁷に、錢湯ハ此ノ中ニ歸ルル⁷中村⁷居テ有。中村⁷西⁷方⁷ハ、大ニ銀
工⁷金⁷取⁷次、通君⁷至⁷ハ手紙⁷と手紙。夕方城内ハ散歩、此ノ中ニ城
の⁷は⁷を⁷求⁷メシ⁷ハ⁷知⁷ル⁷カ⁷レ⁷シ⁷カ⁷ト。長持子⁷ハ⁷知⁷ル⁷カ⁷レ⁷シ⁷カ⁷ト。
とは⁷知⁷ル⁷カ⁷レ⁷シ⁷カ⁷ト。

56 6.09 下大段。吹田で降つたに温中が半生所部平八郎にあり。8年とある。藤枝の死に
 之し。土建中が在る。星枝、3時間おきに出て。12.07 支那。吉野豊房の死に。12.10 支那
 海上。前日記書のとおり。下位氏をまつて早川須佐左衛門長内氏にやがて。その
 足跡を。母の9年小島根太郎の死に。宮下氏よりおとす取書に。42 佐々文彦氏 6月3
 日 島根の死に。

60 6.09に大阪。王在子時内河試馬監督。才也て晝食。芳村氏に中分金取らし。直郡へ歸り。

山前君にカエワースワース10冊で送る。西風をうたふ。16.15
に集った。人物のサマを非子(30)。(太郎は「太平記」の「高田」(60)
夕飯後宮を食ふ。不在で帰る。17.30 明会。高田二
郎、陽生、大澤洋子先生の人の中。

7月7日 朝十時。文科会。島根よりハナ。林田の学校へハナ。
17.30 文科会。19.40 明会へハナ。

8日 9.00 玉桂へハナ。工部へハナ。外へハナ。四巨頭。林田先生
と大澤。東京。向。往。往。往。(工部は「19.40」)。工部の授業。終へ。6.7の。上
落。宇治。二。三。夕。方。大。鶏。飼。見。つ。か。る。群。の。い。か。り
の。と。し。る。す。も。を。い。か。を。い。か。る。2.0.1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.32.33.34.35.36.37.38.39.40.41.42.43.44.45.46.47.48.49.50.51.52.53.54.55.56.57.58.59.60.61.62.63.64.65.66.67.68.69.70.71.72.73.74.75.76.77.78.79.80.81.82.83.84.85.86.87.88.89.90.91.92.93.94.95.96.97.98.99.100.101.102.103.104.105.106.107.108.109.110.111.112.113.114.115.116.117.118.119.120.121.122.123.124.125.126.127.128.129.130.131.132.133.134.135.136.137.138.139.140.141.142.143.144.145.146.147.148.149.150.151.152.153.154.155.156.157.158.159.160.161.162.163.164.165.166.167.168.169.170.171.172.173.174.175.176.177.178.179.180.181.182.183.184.185.186.187.188.189.190.191.192.193.194.195.196.197.198.199.200.201.202.203.204.205.206.207.208.209.210.211.212.213.214.215.216.217.218.219.220.221.222.223.224.225.226.227.228.229.230.231.232.233.234.235.236.237.238.239.240.241.242.243.244.245.246.247.248.249.250.251.252.253.254.255.256.257.258.259.260.261.262.263.264.265.266.267.268.269.270.271.272.273.274.275.276.277.278.279.280.281.282.283.284.285.286.287.288.289.290.291.292.293.294.295.296.297.298.299.300.301.302.303.304.305.306.307.308.309.310.311.312.313.314.315.316.317.318.319.320.321.322.323.324.325.326.327.328.329.330.331.332.333.334.335.336.337.338.339.340.341.342.343.344.345.346.347.348.349.350.351.352.353.354.355.356.357.358.359.360.361.362.363.364.365.366.367.368.369.370.371.372.373.374.375.376.377.378.379.380.381.382.383.384.385.386.387.388.389.390.391.392.393.394.395.396.397.398.399.400.401.402.403.404.405.406.407.408.409.410.411.412.413.414.415.416.417.418.419.420.421.422.423.424.425.426.427.428.429.430.431.432.433.434.435.436.437.438.439.440.441.442.443.444.445.446.447.448.449.450.451.452.453.454.455.456.457.458.459.460.461.462.463.464.465.466.467.468.469.470.471.472.473.474.475.476.477.478.479.480.481.482.483.484.485.486.487.488.489.490.491.492.493.494.495.496.497.498.499.500.501.502.503.504.505.506.507.508.509.510.511.512.513.514.515.516.517.518.519.520.521.522.523.524.525.526.527.528.529.530.531.532.533.534.535.536.537.538.539.540.541.542.543.544.545.546.547.548.549.550.551.552.553.554.555.556.557.558.559.560.561.562.563.564.565.566.567.568.569.570.571.572.573.574.575.576.577.578.579.580.581.582.583.584.585.586.587.588.589.590.591.592.593.594.595.596.597.598.599.600.601.602.603.604.605.606.607.608.609.610.611.612.613.614.615.616.617.618.619.620.621.622.623.624.625.626.627.628.629.630.631.632.633.634.635.636.637.638.639.640.641.642.643.644.645.646.647.648.649.650.651.652.653.654.655.656.657.658.659.660.661.662.663.664.665.666.667.668.669.670.671.672.673.674.675.676.677.678.679.680.681.682.683.684.685.686.687.688.689.690.691.692.693.694.695.696.697.698.699.700.701.702.703.704.705.706.707.708.709.710.711.712.713.714.715.716.717.718.719.720.721.722.723.724.725.726.727.728.729.730.731.732.733.734.735.736.737.738.739.740.741.742.743.744.745.746.747.748.749.750.751.752.753.754.755.756.757.758.759.760.761.762.763.764.765.766.767.768.769.770.771.772.773.774.775.776.777.778.779.780.781.782.783.784.785.786.787.788.789.790.791.792.793.794.795.796.797.798.799.800.801.802.803.804.805.806.807.808.809.810.811.812.813.814.815.816.817.818.819.820.821.822.823.824.825.826.827.828.829.830.831.832.833.834.835.836.837.838.839.840.841.842.843.844.845.846.847.848.849.850.851.852.853.854.855.856.857.858.859.860.861.862.863.864.865.866.867.868.869.870.871.872.873.874.875.876.877.878.879.880.881.882.883.884.885.886.887.888.889.890.891.892.893.894.895.896.897.898.899.900.901.902.903.904.905.906.907.908.909.910.911.912.913.914.915.916.917.918.919.920.921.922.923.924.925.926.927.928.929.930.931.932.933.934.935.936.937.938.939.940.941.942.943.944.945.946.947.948.949.950.951.952.953.954.955.956.957.958.959.960.961.962.963.964.965.966.967.968.969.970.971.972.973.974.975.976.977.978.979.980.981.982.983.984.985.986.987.988.989.990.991.992.993.994.995.996.997.998.999.1000.1001.1002.1003.1004.1005.1006.1007.1008.1009.1010.1011.1012.1013.1014.1015.1016.1017.1018.1019.1020.1021.1022.1023.1024.1025.1026.1027.1028.1029.1030.1031.1032.1033.1034.1035.1036.1037.1038.1039.1040.1041.1042.1043.1044.1045.1046.1047.1048.1049.1050.1051.1052.1053.1054.1055.1056.1057.1058.1059.1060.1061.1062.1063.1064.1065.1066.1067.1068.1069.1070.1071.1072.1073.1074.1075.1076.1077.1078.1079.1080.1081.1082.1083.1084.1085.1086.1087.1088.1089.1090.1091.1092.1093.1094.1095.1096.1097.1098.1099.1100.1101.1102.1103.1104.1105.1106.1107.1108.1109.1110.1111.1112.1113.1114.1115.1116.1117.1118.1119.1120.1121.1122.1123.1124.1125.1126.1127.1128.1129.1130.1131.1132.1133.1134.1135.1136.1137.1138.1139.1140.1141.1142.1143.1144.1145.1146.1147.1148.1149.1150.1151.1152.1153.1154.1155.1156.1157.1158.1159.1160.1161.1162.1163.1164.1165.1166.1167.1168.1169.1170.1171.1172.1173.1174.1175.1176.1177.1178.1179.1180.1181.1182.1183.1184.1185.1186.1187.1188.1189.1190.1191.1192.1193.1194.1195.1196.1197.1198.1199.1200.1201.1202.1203.1204.1205.1206.1207.1208.1209.1210.1211.1212.1213.1214.1215.1216.1217.1218.1219.1220.1221.1222.1223.1224.1225.1226.1227.1228.1229.1230.1231.1232.1233.1234.1235.1236.1237.1238.1239.1240.1241.1242.1243.1244.1245.1246.1247.1248.1249.1250.1251.1252.1253.1254.1255.1256.1257.1258.1259.1260.1261.1262.1263.1264.1265.1266.1267.1268.1269.1270.1271.1272.1273.1274.1275.1276.1277.1278.1279.1280.1281.1282.1283.1284.1285.1286.1287.1288.1289.1290.1291.1292.1293.1294.1295.1296.1297.1298.1299.1300.1301.1302.1303.1304.1305.1306.1307.1308.1309.1310.1311.1312.1313.1314.1315.1316.1317.1318.1319.1320.1321.1322.1323.1324.1325.1326.1327.1328.1329.1330.1331.1332.1333.1334.1335.1336.1337.1338.1339.1340.1341.1342.1343.1344.1345.1346.1347.1348.1349.1350.1351.1352.1353.1354.1355.1356.1357.1358.1359.1360.1361.1362.1363.1364.1365.1366.1367.1368.1369.1370.1371.1372.1373.1374.1375.1376.1377.1378.1379.1380.1381.1382.1383.1384.1385.1386.1387.1388.1389.1390.1391.1392.1393.1394.1395.1396.1397.1398.1399.1400.1401.1402.1403.1404.1405.1406.1407.1408.1409.1410.1411.1412.1413.1414.1415.1416.1417.1418.1419.1420.1421.1422.1423.1424.1425.1426.1427.1428.1429.1430.1431.1432.1433.1434.1435.1436.1437.1438.1439.1440.1441.1442.1443.1444.1445.1446.1447.1448.1449.1450.1451.1452.1453.1454.1455.1456.1457.1458.1459.1460.1461.1462.1463.1464.1465.1466.1467.1468.1469.1470.1471.1472.1473.1474.1475.1476.1477.1478.1479.1480.1481.1482.1483.1484.1485.1486.1487.1488.1489.1490.1491.1492.1493.1494.1495.1496.1497.1498.1499.1500.1501.1502.1503.1504.1505.1506.1507.1508.1509.1510.1511.1512.1513.1514.1515.1516.1517.1518.1519.1520.1521.1522.1523.1524.1525.1526.1527.1528.1529.1530.1531.1532.1533.1534.1535.1536.1537.1538.1539.1540.1541.1542.1543.1544.1545.1546.1547.1548.1549.1550.1551.1552.1553.1554.1555.1556.1557.1558.1559.1560.1561.1562.1563.1564.1565.1566.1567.1568.1569.1570.1571.1572.1573.1574.1575.1576.1577.1578.1579.1580.1581.1582.1583.1584.1585.1586.1587.1588.1589.1590.1591.1592.1593.1594.1595.1596.1597.1598.1599.1600.1601.1602.1603.1604.1605.1606.1607.1608.1609.1610.1611.1612.1613.1614.1615.1616.1617.1618.1619.1620.1621.1622.1623.1624.1625.1626.1627.1628.1629.1630.1631.1632.1633.1634.1635.1636.1637.1638.1639.1640.1641.1642.1643.1644.1645.1646.1647.1648.1649.1650.1651.1652.1653.1654.1655.1656.1657.1658.1659.1660.1661.1662.1663.1664.1665.1666.1667.1668.1669.1670.1671.1672.1673.1674.1675.1676.1677.1678.1679.1680.1681.1682.1683.1684.1685.1686.1687.1688.1689.1690.1691.1692.1693.1694.1695.1696.1697.1698.1699.1700.1701.1702.1703.1704.1705.1706.1707.1708.1709.1710.1711.1712.1713.1714.1715.1716.1717.1718.1719.1720.1721.1722.1723.1724.1725.1726.1727.1728.1729.1730.1731.1732.1733.1734.1735.1736.1737.1738.1739.1740.1741.1742.1743.1744.1745.1746.1747.1748.1749.1750.1751.1752.1753.1754.1755.1756.1757.1758.1759.1760.1761.1762.1763.1764.1765.1766.1767.1768.1769.1770.1771.1772.1773.1774.1775.1776.1777.1778.1779.1780.1781.1782.1783.1784.1785.1786.1787.1788.1789.1790.1791.1792.1793.1794.1795.1796.1797.1798.1799.1800.1801.1802.1803.1804.1805.1806.1807.1808.1809.1810.1811.1812.1813.1814.1815.1816.1817.1818.1819.1820.1821.1822.1823.1824.1825.1826.1827.1828.1829.1830.1831.1832.1833.1834.1835.1836.1837.1838.1839.1840.1841.1842.1843.1844.1845.1846.1847.1848.1849.1850.1851.1852.1853.1854.1855.1856.1857.1858.1859.1860.1861.1862.1863.1864.1865.1866.1867.1868.1869.1870.1871.1872.1873.1874.1875.1876.1877.1878.1879.1880.1881.1882.1883.1884.1885.1886.1887.1888.1889.1890.1891.1892.1893.1894.1895.1896.1897.1898.1899.1900.1901.1902.1903.1904.1905.1906.1907.1908.1909.1910.1911.1912.1913.1914.1915.1916.1917.1918.1919.1920.1921.1922.1923.1924.1925.1926.1927.1928.1929.1930.1931.1932.1933.1934.1935.1936.1937.1938.1939.1940.1941.1942.1943.1944.1945.1946.1947.1948.1949.1950.1951.1952.1953.1954.1955.1956.1957.1958.1959.1960.1961.1962.1963.1964.1965.1966.1967.1968.1969.1970.1971.1972.1973.1974.1975.1976.1977.1978.1979.1980.1981.1982.1983.1984.1985.1986.1987.1988.1989.1990.1991.1992.1993.1994.1995.1996.1997.1998.1999.2000.2001.2002.2003.2004.2005.2006.2007.2008.2009.2010.2011.2012.2013.2014.2015.2016.2017.2018.2019.2020.2021.2022.2023.2024.2025.2026.2027.2028.2029.2030.2031.2032.2033.2034.2035.2036.2037.2038.2039.2040.2041.2042.2043.2044.2045.2046.2047.2048.2049.2050.2051.2052.2053.2054.2055.2056.2057.2058.2059.2060.2061.2062.2063.2064.2065.2066.2067.2068.2069.2070.2071.2072.2073.2074.2075.2076.2077.2078.2079.2080.2081.2082.2083.2084.2085.2086.2087.2088.2089.2090.2091.2092.2093.2094.2095.2096.2097.2098.2099.2100.2101.2102.2103.2104.2105.2106.2107.2108.2109.2110.2111.2112.2113.2114.2115.2116.2117.2118.2119.2120.2121.2122.2123.2124.2125.2126.2127.2128.2129.2130.2131.2132.2133.2134.2135.2136.2137.2138.2139.2140.2141.2142.2143.2144.2145.2146.2147.2148.2149.2150.2151.2152.2153.2154.2155.2156.2157.2158.2159.2160.2161.2162.2163.2164.2165.2166.2167.2168.2169.2170.2171.2172.2173.2174.2175.2176.2177.2178.2179.2180.2181.2182.2183.2184.2185.2186.2187.2188.2189.2190.2191.2192.2193.2194.2195.2196.2197.2198.2199.2200.2201.2202.2203.2204.2205.2206.2207.2208.2209.2210.2211.2212.2213.2214.2215.2216.2217.2218.2219.2220.2221.2222.2223.2224.2225.2226.2227.2228.2229.2230.2231.2232.2233.2234.2235.2236.2237.2238.2239.2240.2241.2242.2243.2244.2245.2246.2247.2248.2249.2250.2251.2252.2253.2254.2255.2256.2257.2258.2259.2260.2261.2262.2263.2264.2265.2266.2267.2268.2269.2270.2271.2272.2273.2274.2275.2276.2277.2278.2279.2280.2281.2282.2283.2284.2285.2286.2287.2288.2289.2290.2291.2292.2293.2294.2295.2296.2297.2298.2299.2300.2301.2302.2303.2304.2305.2306.2307.2308.2309.2310.2311.2312.2313.2314.2315.2316.2317.2318.2319.2320.2321.2322.2323.2324.2325.2326.2327.2328.2329.2330.2331.2332.2333.2334.2335.2336.2337.2338.2339.2340.2341.2342.2343.2344.2345.2346.2347.2348.2349.2350.2351.2352.2353.2354.2355.2356.2357.2358.2359.2360.2361.2362.2363.2364.2365.2366.2367.2368.2369.2370.2371.2372.2373.2374.2375.2376.2377.2378.2379.2380.2381.2382.2383.2384.2385.2386.2387.2388.2389.2390.2391.2392.2393.2394.2395.2396.2397.2398.2399.2400.2401.2402.2403.2404.2405.2406.2407.2408.2409.2410.2411.2412.2413.2414.2415.2416.2417.2418.2419.2420.2421.2422.2423.2424.2425.2426.2427.2428.2429.2430.2431.2432.2433.2434.2435.2436.2437.2438.2439.2440.2441.2442.2443.2444.2445.2446.2447.2448.2449.2450.2451.2452.2453.2454.2455.2456.2457.2458.2459.2460.2461.2462.2463.2464.2465.2466.2467.2468.2469.2470.2471.2472.2473.2474.2475.2476.2477.2478.2479.2480.2481.2482.2483.2484.2485.2486.2487.2488.2489.2490.2491.2492.2493.2494.2495.2496.2497.2498.2499.2500.2501.2502.2503.2504.2505.2506.2507.2508.2509.2510.2511.2512.2513.2514.2515.2516.2517.2518.2519.2520.2521.2522.2523.2524.2525.2526.2527.2528.2529.2530.2531.2532.2533.2534.2535.2536.2537.2538.2539.2540.2541.2542.2543.2544.2545.2546.2547.2548.2549.2550.2551.2552.2553.2554.2555.2556.2557.2558.2559.2560.2561.2562.2563.2564.2565.2566.2567.2568.2569.2570.2571.2572.2573.2574.2575.2576.2577.2578.2579.2580.2581.2582.2583.2584.2585.2586.2587.2588.2589.2590.2591.2592.2593.2594.2595.2596.2597.2598.2599.2600.2601.2602.2603.2604.2605.2606.2607.2608.2609.2610.2611.2612.2613.2614.2615.2616.2617.2618.2619.2620.2621.262

22日 信信口口屋控、通村検査の退職した。 (健康診断をいつか。あつた)

7月23日 11.00より午後展覧、寒く夕方まで雨。37-8°で上らず。
24日 金井、佐田、石見とて和歌友会へ行く。武田豊君のハカキ。登校車内から下りたところ
佐田は、若く下手な教師だ。(注)松村先生も中々で12.30帰宅(両方とも汗をかいて)
海星のこけしや木彫りなど)。夕方に杉竹紙を引いてお返しにナイフで切ったものを
~~送~~にしんがら貸してあげる。雪井書店へ系用紙を取り。
25日 佐田へナイフの贈り物。朝の「光る」ついでを書く。末吉ら来ず。市川夫人の中子へ。
杉本久英氏の文章の編輯作業を行ない終りにした。沢田氏より羽田へハカキ。午後に
学校へ行き宮崎君と話す。小説の新刊書に来ておく。
26日 末吉車の事故でおかしな事ず。このこと電話の交渉内容へ来る。その
相談員になる。発言せられ警察官採用の話を聞いて14.00より帰る。
工場の西山、岡村二組官の芝居として控参也し。ホーローのカードを送る。
27日 末吉車ず。整中君のハカキ。△水取の「おくれ」。夕方に色紙七人
組合費をついに腎臓病との先生と話す。花畑にて昼食し、松野へ逢ふ
話面白し。22.30大風の中で帰る。
28日 雨のうちに登山。支那行の定期代を支払う。吾尾君と話し帰る。夕方
山崎君のハカキと饗宴と。
29日 8.52より新行。古跡書房へ行く。清水文乃女來會はす。富山氏の手紙を
かき。佐藤の足腰が悪い。15.30出て羽田へ11時。帰り。やいばさき老人と話し18.00
出立別れの席へ行く。(名刺を渡して貰う) 帰る。宮崎正郎君車で待つ。山
崎君は鰯肉汁を来たと呼びに来た。富山君と話しゆく。
30日 山上亭へ電話する。鰯肉君と車をと。後雨の中を歩いて、大雨に遭
う屋敷より帰ると雨。両君約りを土産にお返し帰る。八幡の錦織。水路兩
氏の新人会に入会申込。両氏へハカキ。善海よりハカキ。
31日 苗子の井上氏より申込と100。同氏へハカキ。10.00登山。杉本君へ26日の
お礼。恒山を添えて。ホーローは古跡書房の富山氏へ送る。大分町へ6.00。

2日 4ヶ所に出。9.30の重京へお出で。飯口西尾まで。山多きところ。村々あり
野原あり。宮崎君井戸の水をくみ人。水は紅い。村子では音のなる屋

4. 未定。高橋氏へ10分。鈴木氏へ5分。大石・中村氏へ15分。研究員調査水
次を聞く。17.00 事務所へ行く。図書館へ3分。18.00 22.00 中村氏へ17.00
高橋氏へ5分。19.00 松本へ行く。20.00 不眠。21.00 松本へ行く。22.00 松本へ行く。
23.30 18.00 二先生と2人 (中村氏・高橋氏) 松本へ行く。24.00 松本へ行く。

60 (水玉?)の歌三首を録し、12.29に全部、2人だけの会、井上氏等との交流の会
の記録を。書き、その後面白く、再び読む。11月山前君来りて、水玉と、19.40に
井上氏と同車帰り来り。新入、人か来り。

8月8日 子校の電話。9.30に評議会で、新長博士工務省、松村定生学芸部長
に、森房村先生原稿補寄部をさせた。公金の家賃の外は現金でかゝる
模様。惜しむ屋上に後から増え、松林姓と云ふ。風をくちぎる。早く上
りて家に伴ふ事。夕方五時過ぎ。少しづつ山に雲がゆく。
9日 散髪。L. 17.00 汽車に乗って村の奥まで近江鉄道で下車。森山村、全
國の端々まで。20分ほどの大さき。22.00 ころに評議会にて松村平和論を述べた。
ハ. 1.00 帰りに泊る。(大童靴に、涼風に乗り来ても併ふ)。

1. 11月 史書内にて成子佐子と重印へたる。午後各氏の武田君陵本に於て、15の
小紙井上之氏来る。月夜の語を Poets' School とせんと。おれと十紙井上之君
と菱井院へかき夕食の如く帰る。其の末吉上、来る村舎に、金蓮さんと。
八木嶺の伊世へ行くとおれは姉妹と泊りて14日来る。口語歌の伝記
子へおれとのかへし。

13日 10.57 起飞。到10.44 在空。先生入院也。遺石記念橋双のりきり
主室にへる。山前君の住居 Poets' School' 上。1000 円に 160 円に 190
りきり。

15日 10.00 竹中屋から八木峠まで乗車。佐子から47丁まで掘り、排山峠の代巻の建巻
と9井王巻は14丁まで乗船帰った。明日6.00発の土曜9.16にたつ。井上氏よりイサ

8月16日 八本町より9月16日の予定に於て。電報同君義定、御木氏の所。
訪つた会の案内状20通出す。此の村に本校生来る。八本町本校の生徒、その間の人
会、此の所。後王印知文来る。2000貸せ。有金全部を之へ取替3斤をへ帰
つて来る。岩崎君来る。今夕、早業へやる。此の所と断つて来る。又、
分、後長谷川宮村ニ来る。長谷川嬢下段の、当台休む。連立して出。本
田先生の中へ入る。20日、教会有り。此の所、人に出入。30人以上に
する。此の所、会届不要。坊浦へハカ。

18日 午前中から朝日。青根夕刊。^{江崎新聞}~~江崎新聞~~。中部のり。と新南紀を「訪」。200の会々々の
せとこれとある(1冊つ、Poets' School がある)の田。水戸へハが。江戸で現代詩大賞
の肉合せの区事。夕方正活のオナ板文へて。1冊本にし西風れらて得る(2冊の束へわ
りし)。下村海南「15事件」雲々。

20.11(土)午前中學校へサチ高示書を書いて送る。71通し、2名がハカチ受取。
12.00山前。三野家の二名来りついで玩と車に^{てん}乗して午後学校へ行く。14.00
20人と互い南合。江口村の中心で17.00すぎ、ゴールをめぐって廻りを回す。このとき
秀根で我家まで来た由。

22.10 無事。三野忠和の如く。多分村の222印の元も不在。収入簿。

浪野新南、伏田嬢來、五月廿二日松村先生に上は致した。是等山嶽
をうへる外、協作會の事、十と承知せしむ告峰君の如たなり。情れは赤城
氏の言ふこと（七五五—八〇三ノ事）。戸部君と三人にて上り給ふに、戸部君
次郎君來りていづる。その時告峰君來り。

250 8.52 ~ 下段、向工へ付て、意外に其倍の清快なり。此は結構な事だ。
可成り。5000 + 2300 ほど、此を以てする。24日午後車に乗る。此等の事情から
中々不在。ルビ書屋と一古書屋にて石田群玉の「近世文藝」を買ふ(1冊)。公卿
録典(30)を買ふ。市川富院へ中々去る。其時、市川と云ふ名で、
合戦の時の入院。此の二子を取り取る。千草不平なる〜なる。 (即ち此
圖を見よ)。申村治史の中へ此の事を知る。是れに詳し。

27日 朝寝しとしは11.00. 東京安ん着を梅吉とへかみして話しあかしは山田君
着4は"整p. 池田の二名が来. 17.00まで. 金沢まで話しあかし200冊ほど帰り. 08.00
以下は山田君の友人の4人4人4人4人. かしま5720.02のり. 金沢原に2回5人し
20.47のり4人4人4人4人. 三本が書きたる5720.02のり. 金沢原に2回5人し
20.47のり4人4人4人4人. 三本が書きたる5720.02のり. 金沢原に2回5人し
20.47のり4人4人4人4人. 三本が書きたる5720.02のり. 金沢原に2回5人し

28日 晝に寝. 12.29に上洛. 吉野書房へ4冊¹送²り. カートの借入
宮山君に³渡す. ワンカは来月来⁴るに⁵決⁶ま⁷る. 下⁸等⁹文¹⁰学¹¹辞¹²典¹³買¹⁴入¹⁵. 百万遍¹⁶へ¹⁷
吉野(20)飛鳥路(30)大和の古墳墓(50)¹⁸ 湖南. 日本文学研究(120)¹⁹ 北津西

23日 秋分9日也。7.50で上洛、金山5時に狩野氏宅へ「讀書會」に参り、池田孝隆、東

至文の黎明「新書」南巻に「ロ-11」に「印」(170)。河野3行で「活平盛」
記2冊(160)買ふ。山崎君の500冊のなか。佐々木邦彦君は絵巻化と装綴化の
1000で宜しい。吉野書房の電報に校正し。帰り馬に田中氏と一
つ山崎君へ明日中に借言してとせと。青木君が即ち人か。これ其母事なり
と解せしか。

9月24日(日) 8:30山崎君へパズル南社の2冊。太田書房に訪ひ了解を求め。中村
竹治郎へ行く。帰って晝食後。青根図書館に2冊入浴。山崎君と君と一度泊
り来す。錦織恒夫氏へ人か。このところの世に「くさくさ」はかきとる身
の事なり。夜山崎君等四人で作らる。山崎君石々々24時。

25日 登校。工部へ電話して山崎君と山崎君。山崎君「青根報」の
りしてこれ限り他人の事。午後地歴研究室から山崎君へ。明日12時
まで。山崎君の山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

26日 12時限休。10:00登校。山崎君と山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

27日 8:00工部へパズル山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

28日 早起して山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

9月29日 山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

30日 山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

10月1日(日) 山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

2日 山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

3日 山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。
山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。山崎君の山崎君。

10月4日 此より登米、家政科生の新設を企て、カードを完成し、玉錫燭の立書(和
新4)を中島新史文に送せしむ。協賛会、河村喜三郎の推薦に就く。教育の
是職に協賛会の所なりと。世に法人会の承認を要するを書き、賜ふ。この二三の西
校化され。(4とくある「の教二首」は和通信3,4)。

如 家音、Poets' School、夏秋高木へ来た。小林君来た。午後吉崎君、新彦君の
記念をたてた。4便かへし評定へ。

56 雨。一小時。依日晴。此時未日出。有雲。合以二時。即止。二二二。

7日 9.00 京都へ出張 管内の各会、滝沢さん、コンチオの会へ参りし。地回帖
100冊を交付して、お礼を述べた。工部参事、サマエ、安藤、上落。そして、西郷
の社回参り。読本を中へ。西郷の参り。

8日(土) 9.00に上洛。取組の事、大港新聞社(60)に。向て加藤三郎(支那)
新聞社(70)に散見して中々反響なし。後日此の件、東京、大阪、京都、
神戸の各新聞に。14.30に令嬢已之、即座に上ル。訪とせられし下等車。荷物の
目録を二枚紙に。29日と云ふ此の人数に22日。佐々木氏の1000お札と云ふに
し、日嬢の指導あり。此山村の此等出来たり。空手道、古流、工場のあり、
中々と云ふ。

9日 十吉夜二時。吉島監司へハカサ。角川素庵松王純一へハカサ。大へ西山の許へカサ
と。照るにハカサ。監司の経歴の由を訊くとシテハカサといフと詰問す。又名を
上野の英文教授ハカサと。監司ハハカサ。建業の由を訊くとシテハカサ。ハカサ
ハカサ。入話す。夜 若嶺君來り建築界の議論す。

106 電考、1-1横直2單位、年級くつて區部、依之本邦序の如く、道造の手紙等
しきとあひ合。少方當時の陳君と近頃の人の會の書内から2枚だけして出す。長谷川
英子嬢の石版と相似の賜ふ。

1/10 西。協理會より、事なく連日協理會より、25/10より、20/10
 年18日。園大生森田より、
 (西山、東山、北山、南山)

126 久しからず晴、大分県。一昨日、山口に上り、小川沿いに藤崎園
へ上。井上源三郎氏の十数畝の庭園。15.30 西河内町に上。船中、
大分県に上り、井上源三郎氏の十数畝の庭園に上る。

10月13日 10.00の汽車にて上洛せんべし30分延着して吉崎君に会いて馬車路へ別れを告
げると共に、吉野書房に於いて奥田君あり。話高孔明⁷を書き、十ヶ二ヶ一¹のつやあけ
り。量文堂へやつて記録紙(40)和算紙(100)=口算演数(150)⁷注文す。三本が功即ち
先づハル正治君より入付定と、休職中とし、お世話をせよ。石山にて井上君長三⁸のへ
んが来。常々ハ角の清等書、十ヶ二ヶ一¹君より29日来たし。堀内氏一の歌集の批
評をし。片小佐子に吉田先生への手紙。之に宮村⁹讀みつる所あり。

14日 登壇。篠田之江訪しに来たらずと、工部へ参りノート検査。11.57にて上洛。九條の古書を見る。宇治へ大久保のゆかり十高根=即防おれも不在。29日の会を二報し。19.57にのりて帰る。青本宮太妃。金部職恒夫。武田豊エリハが中。預作の二つも止めて人毎巻にし女の件は直すと云いお。冬迄をいへて思はれ、潤まつとはつづく^秋もなし。いまだにしはしといふ所山々あつて田舎はいいと云りぬ。

今日 旧村要右伝 29冊の奉仕。角川のハイネ3冊と本寧治(金49)の合
る王(量)と伝説の古書7冊上巻一冊し葉の華7冊。18.30 吾等、高村=と
来り。おけ新くは本寧、合のつてく。岩崎君来り、永江氏に会ひし。大
野地、中帖貸す。また、高村の書と中村の42冊君来り、近江人の書、い
ふ、政治、上はそれと、教育の事いせとす、いふ。通達路、おと村
971に作る。出るため。

16日 雨、十支組二部工の29日暮ると、金井寛之助工の18日暮ると、井二多田三郎工の暮
任在一郎28日暮土へ泊ると、午後登米、中川治郎国民史着く。杉村川崎、
宮川三三郎土杉本へ映画をいれり。芝居部つ会へ杉村氏報告日と夜の修任
工つてあるの氣付く。18日の協仲会もなし。112中絶氏門下又たつて、常語とせ
る。要し。11月定期普代900円研究費工の請求す。姫路氏の工つてはみえぬ
かよて、おしむ(=不快)。11月工面付登社つてみハイネ請求す。外山早治
氏近に来ると。

17日 本朝終りの漢語を文種に行ふ。土山君の口史を輸入の台録とし、筆録して帰京とす。外山雪江氏來訪。と陽城に遊幸せられたり。と土山君家のいとむすむ成山のゆき。帰る途に於て、15.00の汽車にて一區へ送り越つ折り返し。後田先生はくわあ早急由。今定數代に於ち、此の旅費石、就費5、20日償ふ。ハイネすゑ。岩崎君來了。

18日 9.30 平張頁信士。狀。泥的。一一。張。在。市。同。威。圖書館。150 冊。

11月16 到コレオス詩話会に礼状。数に詩士に辭言せずと。而も聲にエハイ
ネの儀從。一度聲をせしむ。靴を詩士来して之。量額に二つ有り。12.30再ハ
を讀之のキヤスト書とし右に包いせの松誠会に於て紀事の此に。腹まて靴
を詩士に傳へ。止めざるや。おそれぬ。中松村氏も同席に。夕立後。Poets'
School 連日の表書かえりしころへ字を君来りついに言ひ来る。家の
新築おいやんとなるらして。

3日 9.00の汽車のうらなせしん分おくれ、出立して10.57.川崎にて同車。(馬車
エの午後4時45分入。痲痺の手紙着せたりぬの家)。人研に1412/12.30.丁
会中休みして碇石と晝食。榎、吉村氏に挨拶。神田信太郎車に。やいて羽田十
士へ論双鶴呈式。おみへ1冊を贈る。これより、東京、吉村 信太郎の講演がなつた
が。石波先生は之、桑田先生が那田先生へ紹介のせう外山氏に伝ふ。外山氏より「
特選1冊」を呈送へつた1冊贈らう。榎、これより、羽田、吉村、信太郎の信太郎
同い下、ブルにて晚餐。(小林高田即ち天理へゆかし)。おみへ神田信太郎より書
札へ来^りて挨拶し 石波先生と同車にて東都駅。碇石に16分して5分おくれ
御馳走とある。(信太郎は人件の多量に御馳走へ送らう。

11月5日(日) 中島氏 7.30 定数系に出発し8.00 朝食をとりす。8.30 中島氏 金田一先生の宿舎へ~~出向~~とす。定山寺に参詣せず。宿舎を出し。宿舎より。定山寺と講演会にゆく。金田一先生D語改革と教育法について話す。D語綴り改革と混同の感あり。陸田中島氏より紹介受け。定山寺よりsign-inあり。晝食をとり中島氏を家に伴ふ。出向ありと誤るの事告げし。15.00 田村孝太郎君に会い中島氏。中島君は山に登山し。夕刻にのり丸野本町の宿舎にゆきし。頭痛と。やゝしびし話しのち中島君。河原町。町を歩き帰る。うきうきの話す。中島君よりお慰めあり。 小村孝太郎

7日 鈴木氏へ5冊送らすこと依り子にhq. 10.00 量校. 森田氏に2冊(園紙より)丁
書本題は. 7冊中前日政友会と以て旧知と. 等縁と. 持欠部と云ふ. 明日午前
都合にて協記会へ送る. 講義. 社し午飯くちで帰る. 井上君に三冊の紙と印刷し合
名簿24号と送ることに送る. 1冊半書^く. 田中君に2冊の礼状. 吉田君に2冊の34^日分の
会費. 以上八本. 送るハイツ4冊送ることに. 八本. 送る前田君へ1冊へ1冊.

9日 大北山から北へ川沿いに歩き、井上三郎氏の墓を見、午前十時那智通達し、午西
小笠原へ来たらず、安堵の涙を流す。佐子、愛知島村まで行く機あり。吉田先生に話をして
午後二時に登る。瀧文池所1.2km程で①より1.5km。満義後、藪至、山村徹2先生と
語り合ひ帰宅。藪至博士明日工事あり。夕方佐子、吉田先生と話して来り、夕飯後宮内
へ行方。土井俊章偕行。乙未に出で帰宅。

[illegible]

11日 寒し。菓子下敷工へ再臨し之を医師(小石)にサリシ也。中絶此足中、おた
 辞職理由を云ふ言ふ。神田 錦木両先生接洽の件心中之。今夕主君へ言ふ。
 いふと云ふ。室の工事。土俵鶴田先生7人番切也。へんし由。1157のり交
 却。吉野事務所へ1000通し。前日社長の山下君の給の現へん。之んと。出て研究所
 へサリシ。義村の初日。電話か。り。了。研究室へサリ。和の博士倫理の受取気
 云へて云ふ。初日。室へ。佐伯氏と鼎接(事文書下。和の先生相互読書云。之山堂
 一。之。金下。金下。推移)。しんしん。室へ。サリ。云へて云ふ。幸福山の。之。之。サリ。月。年
 云へて云ふ。11日。佐伯氏。云へて云ふ。和の博士倫理の受取気。云へて云ふ。11日。

12月24日 吹雪の中を大へに遅らせ13.10に乗りこえ、直ぐに北谷井に着17.30.
所産品三の義妹夫婦来り。話す中伊豆の地、彼等の製菓部と、大に北谷の
話で今までの城平知父の思い出を話し合ひてゐる。山形に話を通し常陸山
の遊覧は444、愛宕と乗って常陸の氣をとり、22.00大に帰る。

26日 朝 桶屋町を過りて西河原の如く、小七を難貨屋に賣り、雪の甚候へり。在代1700
受取。本屋の雪を以て何とせし。雪の何れもせず。雪の甚候に近き一冬をわが家の
うらぬかおへしとは。としがふてわが町を立つる市の為は月夜もにかりてわが町來しにや。
梅の夫と云ふ此教信者のにるしをいざし降車る。

28日 癸卯臥床。頭痛正^中其時午前向ふて押し正月早^朝 出た。也不退けしと。寒く
て本意なし。夜書の會に於て^{是れいそり}~~て~~止む。又^は12.00 父の汗へ毛すゆふ。夜帰らず。
29日 晴晴。午後去て川村医師を訪ね依預証を〜してえらひ。川村が次郎君を
訪ねに他去。一廻りして主座にて話す。ついで、みづゑの生誕会。小・歌に於
てしほ結永嬢の1票のみ。16.00ころ帰る。又17.00 帰る。車、父の乳桶
も帰る。翌日、土曜。野田又女といふかき村書く。

3/10 朝. 芝崎五郎より来。一昨日夕方、来りて、南92L、北94L、東95L、西96L、高100L

昭和26年

26 年変化 16 頁、伝言へ帰るに、杉浦正一、^{（三）}（四）^{（五）}の会合と。若山正秀の
来り青年会へ、本日午後、川村トク、世良氏、市役所~~内~~の会合と。14.30
で終るこれ（遊戯）した。夜は村君の電報、30 頁付す。12.20 頃明くる日の
うす。

4.10 晴寒し。旧の始業として登校せしむる長来は、今澤郷とし、室中召て刀を、
公舎にて、和村家へ移りて帰る。后日事務新居夫婦来訪にせ、室中、夜中、
夫婦帰宅。4.2 賀状、新田先生と、娘さん(紀子)、外に、羽の青きたる、旧の、を、
り。

6日 9.00 同24. 是年秋に去。10.30 駒前下至同212' 名2. 晝直し。800+100 歩2。

夜 松村先生の中にも大曾^{（弟）}の語、才少く知博の常会、23. 四半ににやうし。

19日 正へ不眠。七七史の市北へ包つ藩の局々此處畫玉臥床。事つし宜川の
區職へ一々外へつし事つし國文の相書へせし。十時。宇野宮詣り
りし。能治の山下君と此處の事つし。也つし山下君と連絡へん
し。四時正事つし。午後此處に相書へ宜川君の事つし。此處大事
連絡へつし。七七西甘城此處諸君へ一月の信便。友任の信便三
部君の午後。五時へ七時へ午後此處諸君へ信便つし。十日城甲名
父の山を記事書へつし。雨降つし。心持の時此處。

と比し、文部省の筆紙の振替の辞書の端で書かて、筆子金10、奥西15
 金10 2000 あり、とある石田正成社に付と取りりて有つて、丸太町で買ひ、ま
 り物石金10にて他を、春去、~~神子金10にあり~~ ~~1000~~ (80) 春去、十年 (30) 雲、石
 物金10 24番、20071111 1300円!! (石村トウソーへの札に 筆子150)。11
 路君工の上段に品へ替居せし。取回し入かろふと、1100円 (取回しは、
 1、カ野膳年、2、土屋井一故、3、宇野宮清吉 とつて承知せしり)

22日 Eへ暇をいり、12.00までで帰る。翌日、中島氏と会って、乗務中に止む事。
後同席士も了解し、協賛会に出して井之口氏がまゝに手配かへし。山下君、宇
川君の印刷所の手直し。法入の会計大方修りまであり。向村君と助産婦
のつづきも、無理をかたり引込め、出られし看護生を違ふが故に、杉村氏よりい
ふ所、中野雪氏と云ひし上、師君話し、近頃氏の死にたい所再考を乞ふ。夜
寝食不事なり。こればかり申し金を出し⁽⁹²⁾て、学校々々に考へ深く研究せよ
と。(此等不為人、吾輩夫人といふに似てくれ)。

23日 文科預備校地。傳治(17900) 午後7時^{8.47} 病院へ行く。官舎。新
 島西夫人あり。身の廻りの品遣い整えられし。夫人はさへうしよと夫君を次子と
 稱し來り。トッテ一看察時と云ふ。18.00一上家の様にして。主として
 子に背負はれし。我々の20.30 帰宅。トッ子らに100円をやる。トッ子らに100円
 金へは14時君に力に返す。トッ子らに100円金へは14時君に力に返す。トッ子らに100円金へは14時君に力に返す。

24日 晴。10.00 宮中へ来訪に起ちて、病院へかきつけに會ひ、會談の隙にヨシシ
 冷溪。15.00 看護婦¹¹ 300 名を以て俄に手折してくわへて至り、中西トクサー用を
 裁はかりしにわたり、その後婦長を免職。但し寵臣の淫曲をやめ、夕夜時を
 宮中へへておこなふ事をし、せんをせしむ。20.00 までで帰る。其後
 1. 達達にて堀場へ宿儀し、其後し再びや水、大段へゆく。子らはゆく
 合ふ。29 日を以て終る。あくる日つむかへて、~~ゆ~~ゆは、天の身と事なす。

1) 256 互にそれらの雪のつくはたのふたへ向へて、3456。

朝。3子。依子。孝にて病院。経過不_レ々_ニゆ_ニ。可_レま_ニか_ニ世史を管轄_ニゆ_ニかせ
依子。3子を留守せしめて漢文教へ。帰つて二世を病院にゆかせ。13.の
帰_リ来_ルに_レの_ニま_ニ登_ル。教養部設置の会にお_レる。折村。中島三_ノのま_ニ
は_レか_ニか_ニ足_ルの_ニ氣_ニの_ニ毒_ニなり。わ_ニ文_ニ種_ニへ_ニ致_スる_ニこ_ニい_ニこ_ニし_ニゆ_ニせ_ニる_ニ過去。け_ニ
上_ニの_ニ善_ニ信_ニ工_ニ寒_ニ中_ニ足_ル。か_ニ見_ニか_ニ来_ルし_ニ。任_ニに_ニへ_ニ礼_ニの_ニか_ニき_ニ書_ニく。若_ニ然_ニに_ニ
體_ニ中_ニ致_スしか_ニれ_ニは_ニか_ニか_ニら_ニ中_ニく_ニ致_スる_ニ善_ニは_ニか_ニく_ニし。降_ニつ_ニる_ニ雪_ニ
と_ニ呼_ニを_ニを_ニ叩_ニく_ニて_ニか_ニか_ニら_ニして_ニ文_ニ作_ニれ_ニゆ_ニ。此_ニ見_ニ理_ニ辭_ニ品_ニに_ニ即_ニ押_ニす。

26日 10.00 来へ家を出て病院へ出た。経過良好。Fの同室あり、子癇にて常已而
（南）と。10.02 去て58までを歩きて工場の近く迄来た。一才の子に「お母さん、
まじで可愛いわね」といふ。去つて12.28 取消し。58まで待つ間、二人合点。その家の
ハバアが腹主。差支ないが村トクダのいへば電話して中面トクダのいへば返院
しろして。あんなに早く出てほしてよかった。学校の中を金銭使ひます。毎晩よく台
せは山下君が校舎裏人かき。伊藤忠孝大と交ひる休学許可を求め許して金銭
を貯めて出。病院の中にも既に家を出ていへり。叱咤の中を帰るとすれど、同病
者軽りの逢ふ電話をかけくわゆるタラにて伝記を書き。われも譯、宮本君と接
し。同室気味なまた典型的なイレテリにて無力とわかる。何と病院所の手紙し折
摺った長文の宛名の許可を受く。入院料1922。少し安いにし。何と記念名
前にておとす1690なり。

27日 朝長久保の山に埋め。梵喜の200カ所して同向の山。登る。朝日と
いふ所の所にし。13.山の汽車と同行した。晝食後又上登り(廣瀬と云
はれぬ所の所にし。山崎氏の正月の200カ所)。駅のカナハチの日光寺から
山崎氏へ行く。主即着。猫耳の山を越え、新田に400とある。お金
く、和日と云ふところへ分解してくる由。お餅御馳至る。これにて四
條南座の前にて品々(村上1時間講師にて9.00の月俸、東京左右の品々
をてき由)而して中村の夕飯中。砂糖1斤土産とし、十郎君考極む巴侯様にて
いふやうな様子中。他を考へて研究室で置き。田村に通入る言ひ。20.
去つて朝日防土師へ行く。松村氏は山中と、常盤山永ついでせり。
若くは古き世の風情の如くいふ噂の中。72子といふいふ伝説。(村上

風名 232. 却疑在逆江上)

1月28日 朝倉工場にて9.00より午後、先物にてシエレ社・カーチン・蒙古毛⁷(150)
買ひ、晝食をうへ、整つたせしむ、差粧へ入つた。京お・習福風か。月着るまかと。
わか血肉岩と木の根の山へんに埋めしこはきかすあらむ。このととめさか
しきさかにをさかとうこはかりつ、もの、しるらしき(900+140+160=1200(400))
吉野君、田川君、中川君やち留守中來つて。(帰りの汽車守山まで山を返さず
意て同車、赤崎源氏改訂の下巻やと)

29日 朝、子と登校。わが食糧公園へかま市役所へかま市内警備の年続し。来7か
とふ来とし。八木区トウターに経済をな。帰るに 晝食。陸軍。田中せいの筆部のを種も
うな。帰るには宮下君来り。話する八木区長と見え。口内茶と。何万番出の録りカ
ー卜作りの初也。城守知事。三本正治氏へハカキ。夜若崎比弥。中の御旗。原野。
若森。張永嶺ら次でいあらはれ。嬢を降く4人おそくまでいしてゆく。岩崎君西平本町
西部岩森花方へ下宿也。

30日 丁支横賞、レポートの題5を出す。帰国又きようハイネの礼状、そのと書出し、
朝礼と山下君にあたり、旅費請求をせし帰り、晝寐、胎児のにおい、地事や。夜福五生
母を奉り、産後犯を止めしめんと、市川夫人の中腹に産み、縁談にまつて祝わに來る。
31日 10.00 米穀、へかき福五生をせしめ、西にす、十便出で元付の家へつゝ帰、事
情あり、河村のクロー、月下の一瞬、とゆゑ、福五の女母に話し、帰
金、中川柳、故君の金、福五の女母に話し、帰金、中川柳、故君の金、
ふし、夫人ととも、福五の女母に話し、帰金、中川柳、故君の金、
け是とし、宋名臣言行録上(50)と伊東夏雲(40)を、山崎端の入浴、夜、同
川君を話し、福五の女母に話し、帰金、中川柳、故君の金、

2月1日 ~~8.45~~ 8.45 エキ環女漢義し。蘇泊の文をテキストに附りて10.00 帰宅。晝食して2.00。夜更客あり。お向こふといふ娘とふへて幸三郎。飯木おしむせしと。金にくて困らしむ處にか20.12に帰る(金江より金下車と)道中の中々は至海道線不通。再び水帰る。途中置て来し西1/4の中6合を中2面する。吉石の事筋度ありし。此より中2毒害を欠けの所。に帰るしう合はイ協計新築し。し中3の事より豊の村道中本家より往み。6月より富田の家電に。旧友の訪りしに23日あり。

い。考。わ。ぬ。に。敬。意。を。全。て。し。て。一。切。平。等。に。お。し。や。す。
主。家。一。子。に。二。三。事。を。授。け。し。め。し。て。し。や。す。

太田守松 校長